取扱説明書

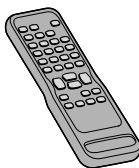
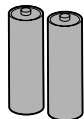
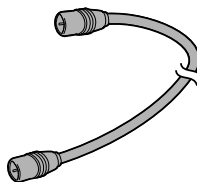
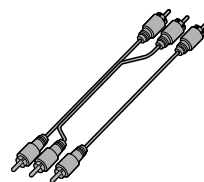
このたびは製品を
お買い上げいただき、
ありがとうございます。

Hi-Fi（ステレオ）タイプ

ビデオカセットレコーダ
VTR-100

製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見ることのできるところに必ず保存してください。

VHS SQPB

付属品が同梱されているかお確かめください

リモコン　単3乾電池（動作確認用）　同軸ケーブル　映像・音声コード

保証書について

・保証書に販売店名と購入日（購入日を証明する納品書や領収書）の記入、納品書や領収書がありませんと保証期間内でも万一故障がある場合に有償修理になることがあります。内容をご確認の上、大切に保管してください。

もくじ

—アナログ放送からデジタル放送への移行について—

デジタル放送への移行スケジュール
地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で２００３年１２月から開始され、その他の地域でも、２００６年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は２０１１年７月に、ＢＳアナログ放送は２０１１年までに終了することが、国の方針として決定されています。

アナログ放送受信チューナ内臓の録画機器でデジタル放送を録画するには
別売りのデジタルチューナまたはデジタルチューナ内臓テレビと、お手元の録画機器を接続することにより、デジタル放送を録画いただけます。ただし、録画機器の種類により、接続方法は異なります。また、録画機器により録画画質は異なります。番組によっては、著作権保護の目的により、録画や一度録画した番組のダビングができない場合があります。

■ 安全にお使いいただくために

この製品を正しく安全にお使いいただくために、次の事項に注意してください。

絵表示について

・この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

△記号は注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

絵表示の意味

 • 必ず指示にしたがい、行なってください。

 • 絶対に行わないでください。

 • 絶対に触れないでください。

 • 絶対に濡らさないでください。

 • 注意してください。

 • 破裂に注意してください。

 • 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

 • 絶対に分解/修理はしないでください。

 • 絶対に水場では使用しないでください。

 • 絶対に濡れた手で触れないでください。

 • 高温に注意してください。

 • 指をはさまないよう注意してください。

 • 指のケガに注意してください。

 • 手をはさまれないよう注意してください。

おことわり

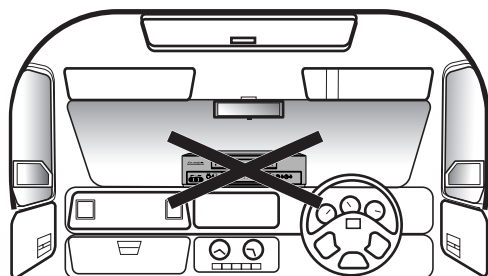
・製品本体やリモコンなどのイラストは、実際の商品と形状が異なる場合があります。

⚠ 警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

使用禁止

本機は車載用ではありませんので、お車の中ではご使用にならないでください。また、自動車内に放置しないでください。

- 車載で使用した場合、車特有のノイズをひろい、音声や画像が乱れます。
- 窓を閉めきった自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し発火、発煙事故の恐れがあります。また冬場や雨期には結露が発生しビデオテープを傷めたり、本機の故障の原因になります。
- 市販されている電源コンバータなどや、お車についているACコンセントを使って本機を使用しないでください。

ご注意

ご注意

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

使用禁止

プラグを抜く

本機や電源コードが異常なとき(煙が出ている、異常に熱い、変なにおいがする)は使うのをやめ電源プラグをコンセントから抜く

● そのまま使うと火災・感電の原因になります。お客様による修理は危険ですからお買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

本機内部に水や異物が入ったときは使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く
● そのまま使うと火災・感電の原因になります。お買い求めの販売店にご連絡ください。
● 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本機が破損した場合は電源プラグをコンセントから抜く
● そのまま使うと火災・感電の原因になります。お買い求めの販売店にご連絡ください。

交流100V

本機を指定(表示)された電源電圧(交流100V)以外で使用しない
● 指定(表示)以外で使用すると火災・感電・故障の原因になります。
● 接続する前に指定の電源電圧に適合しているかもう一度確かめてください。

ほこりをとる

電源プラグのほこりなどはとる
● 絶縁不良となり火災・感電の原因となります。
● ほこりをとる際は、乾いた布でふいてください。

水濡れ禁止

水場での使用禁止

本機を水で濡らさない
水滴のかかる場所に置かない
● 海岸・水区や雨天・降雪時の窓辺での使用や設置に注意してください。
● 風呂場では使用しないでください。
● 内部に水が入ると火災・感電・故障につながります。

改造・分解禁止

本機を改造または分解しない
● 裏ぶた、キャビネット、カバーははずさないでください。感電の原因になります。
● 内部の点検・調整・修理は、お買い求めの販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴りだしたらアンテナ線や電源プラグにふれない
● 落雷すると誘導電雷により感電することがあります。

禁止

本機をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない
● 落ちたり倒れたりしてけがの原因となるため注意してください。

電源プラグやコードを温度や湿度の高い場所(こたつの中やサウナなど)で使用しない
● 感電や火災の原因になります。

本機の開口部(通風孔/カセットテープ挿入口など)から内部に異物をいれない
● 金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりすると火災・感電の原因になります。
● 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本機を持ち運ぶとき振動や衝撃をあたえない
● 故障の原因となることがあります。

本機の上に水などの入った容器を置かない(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)
● こぼれて本機の内部に入った場合、火災・感電の原因になります。

電源プラグは確実に差し込み、抜き差しが弱くなったものは使用しない
● 不完全な差し込みは接触不良となり発熱・火災の原因になります。
● 時々点検をしてください。

電源コードを正しく使用する
・束ねない・延長・固定しない
・タコ足配線をしない
● 束ねての使用やステップルなどで固定すると内部の電線が切れ発熱し焼損・発火の原因になります。
● タコ足配線をすると発熱し火災・故障の原因になります。

電源コードを傷つけない
・破損させない・加熱しない
・引っ張らない・加工しない
・切断しない・ねじらない
・曲げない・重いものをのせない
● そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

注意

電源プラグやコードは乳幼児に触れさせない
● 電源プラグやコードは小さなお子様の手の届くところに放置しないようご注意ください。
● 感電の原因となることがあります。

電源プラグやコードが傷んでいる場合(刃の曲がり、プラグカバーの傷み、心線の露出、断線など)は電源プラグをコンセントから抜く
● そのまま使うと火災・感電の原因になります。お買い求めの販売店にご連絡ください。

電源コードを動かすと電源が入ったり切れたりするときや、コードが部分的に熱いときは使用しない
● コード内部の電線が切れているため、使用すると感電・火災の原因になります。

アンテナは送配電線から離れた場所に設置する
● 倒れた場合は感電事故の原因になります。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

プラグを抜く

お手入れの際、電源プラグをコンセントから抜く

● 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本機を移動させる場合、電源プラグをコンセントから抜く

- アンテナ線や外部の接続線もはずす

● そのまま移動するとコードに傷がつき火災・感電の原因となります。
● ビデオカセットテープは取出しておいてください。

次のような場合、電源プラグをコンセントから抜いておく

- 長時間外出するとき
- 旅行をするとき

● 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

正しく入れる

乾電池は正しく挿入する

- プラス(+)とマイナス(−)の向きを正しく入れる

● 誤って挿入すると破裂・液もれによりけがや周囲を汚損する原因となることがあります。

掃除

年に一度くらいは本機内部の掃除を依頼する

● 内部にほこりがたまったまま使用すると火災や故障の原因となることがあります。
● 内部の掃除やその費用については、お買い求めの販売店にご相談ください。

海水や塩害に注意

● 海辺にお住まいの方は窓からの海水や塩害に注意してください。

濡れ手禁止　水濡れ禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり水や液体をかけない

● 水は電気を通しますので感電の恐れがあります。
● 必ず乾いた手で持ってください。

設置禁止

本機を次のような場所に置かない

- 湿気やほこりの多い場所
- テレビの近く
- 油煙や湯気が当たる場所
- 熱器具の近く
- 直射日光の当たる場所
- 押し入れや本棚など風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など高温になるところ

● 発熱による変形や火災・感電・故障の原因になります。

禁止

電源コードを引き回さない

● 戸を介して別の部屋へ引き回さないでください。コード内部の電線が切れて焼損や火災の原因となります。

電源コードを引っ張らない

● 電源プラグを抜くとき、電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源プラグに洗剤や殺虫剤をかけない

● 煙や発火の原因となります。

本機の上に重いものを置かない、乗らない

● バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
● 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本機の通風孔をふさがない

- 風通しの悪い狭い場所に置かない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない

● 内部に熱がこもり火災の原因になります。

指定されていない電池は使用しない

指定

- 新しいものと古いものをまぜて使わない
- 種類の異なるものをまぜて使わない

● 指定以外のものを使用すると破裂・液もれにより火災・けがの原因となることがあります。

高温注意

電源コードを熱器具に近付けない

● コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

注意　注意　注意

指や手をはさまれないように注意

● 小さなお子様がテープ挿入口から手を入れなようご注意ください。
● けがの原因となることがあります。

破裂注意

乾電池の取り扱いに注意

- ショートさせない
- 分解・加熱をしない
- 火の中に投入しない

● 破裂したりする危険があります。

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、お買い求めの販売店にご相談ください

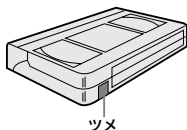
● アンテナが倒れた場合の感電事故を防ぐため、送配電線から離れた場所に設置してください。

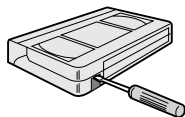
お使いになる前に

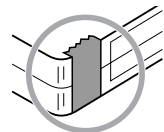
■ ビデオカセットテープについて

このビデオはVHS方式のビデオです。VHSマークのついたビデオカセットテープ以外は使用できません。

大切な録画テープを誤って消さないように…

誤消去防止用のツメ

・カセットテープには誤消去防止用のツメがついています。

誤って消さないために…

・ドライバーなどでツメを折ります。
(ツメ折れテープは録画できません)

ふたたび録画したいとき…

・セロハンテープを二重に貼りめくれないようにしてください。

テープの保管は…

● 次のような場所に保管された場合、テープを傷めるときがあります。
- 湿気やほこりの多いところ、カビの発生しやすいところ
- 直射日光が当たるところやストーブの近く
- 磁気の発生するところ

● 落としたり衝撃を与えないでください。
● ケースに入れて保管してください。

録画時間について…

● 標準：画質優先の場合に使用するモードです。テープに表示されている時間を録画することができます。
● 3倍：長時間録画の場合に使用するモードです。テープに表示されている時間の3倍の時間を録画することができます。

テープの種類	標 準	3 倍
T-60	60分	180分
T-120	120分	360分
T-160	160分	480分
T-180	180分	540分

■ テープ内容補償・ご注意について

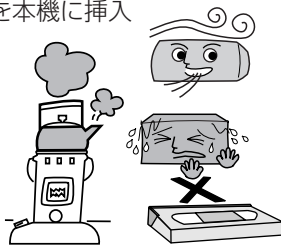
● 万一本機およびビデオカセットなどの不具合により正常に録画されなかったり、再生できなくなった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。

■ 結露について（本機は乾燥した状態でご使用ください。）

● 結露が発生した場合はビデオテープを本機に挿入しないでください。（ビデオテープを傷めます。）
結露が発生しているときに、ビデオテープを本機に挿入されたとき、ビデオヘッドにテープが張りつき、巻きついてしまい、テープや本機を傷めます。

● 本機はよく乾燥した状態でお使いください。結露が発生したとき、電源ボタンを「入」にしたまま、最低2時間は乾燥のため放置した上で本機をご使用ください。

■ 結露とは…
暖房した部屋の窓ガラスに水滴がつくことがあります。これを「結露」(またはつゆつき)と呼びます。本機に結露が発生したときは、本機内部のビデオヘッドに水滴がつきます。乾燥させないかぎり、本機はご使用にならないでください。

■ 次のようなときに結露になりやすいので、ご注意ください。
- 本機を寒いところから暖かい部屋に移動したとき
- 急に部屋を暖房したとき
- エアコンなどの冷風が直接当たるところ
- 湿気の多いところ

結露が発生したときのテープが巻き付いてしまった状態

ビデオヘッド

正常なテープローディング状態

ビデオヘッド

■ アンテナについて

● 妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してください。
● 風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。
● アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

■ ご注意

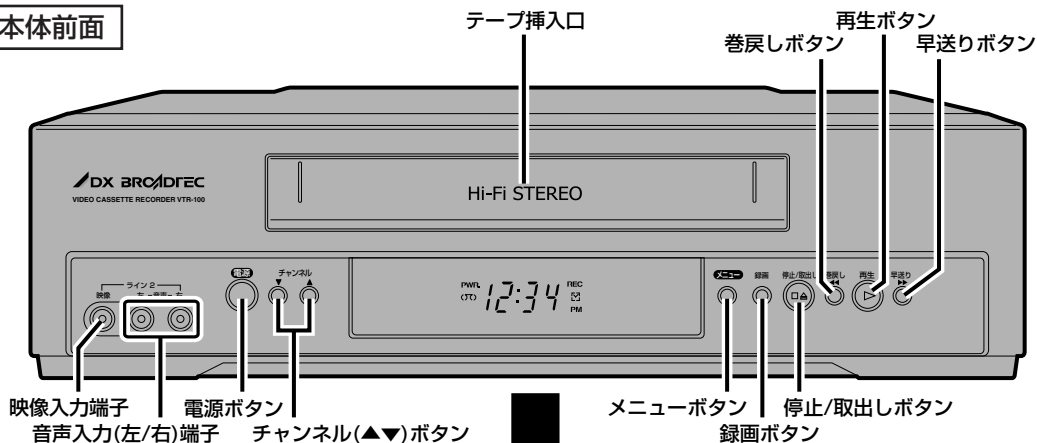
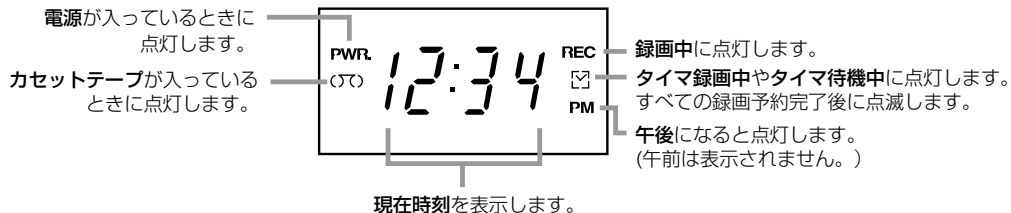
● 次のような場合に映像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一このような状況が生じた場合は、テレビと本機を離してください。
 • 本機の上にテレビを直接置いたとき。
 • テレビの上に本機を直接置いたとき。

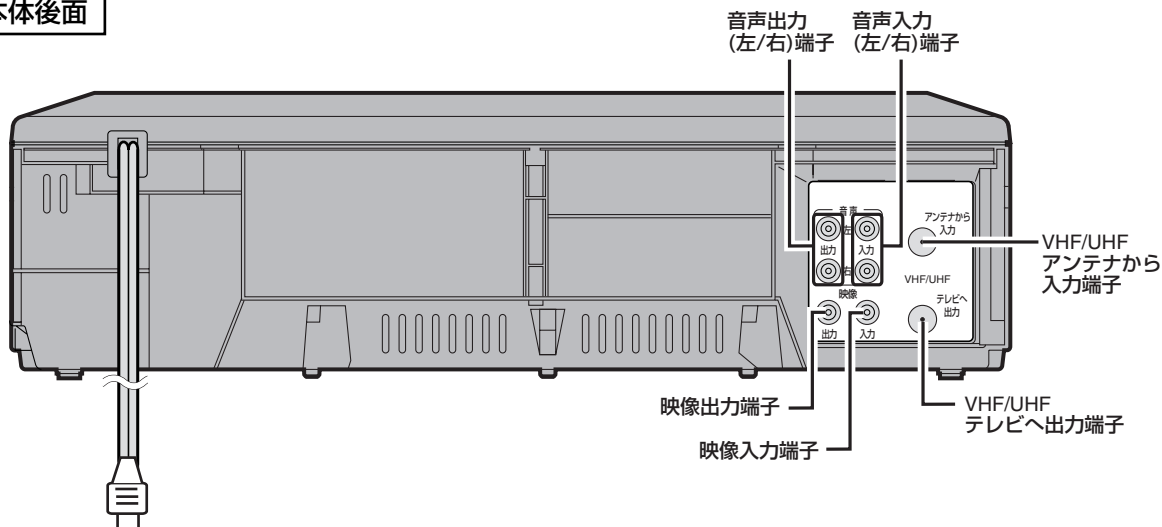
■ リサイクルについて

本製品の梱包材はリサイクルができ、再利用が可能です。お住まいの地域のリサイクルに関する取り決めにしたがって梱包材を処分してください。乾電池は、投棄や焼却処分をしないで、化学廃棄物に関する地方自治体の規制にしたがって処分してください。

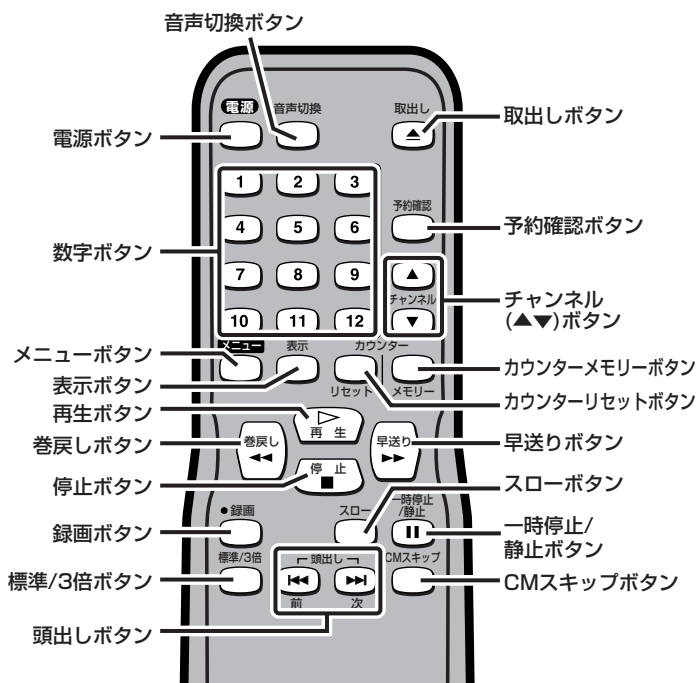
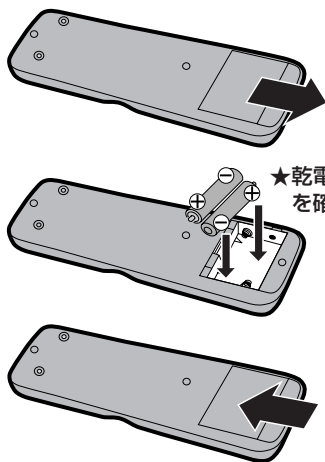
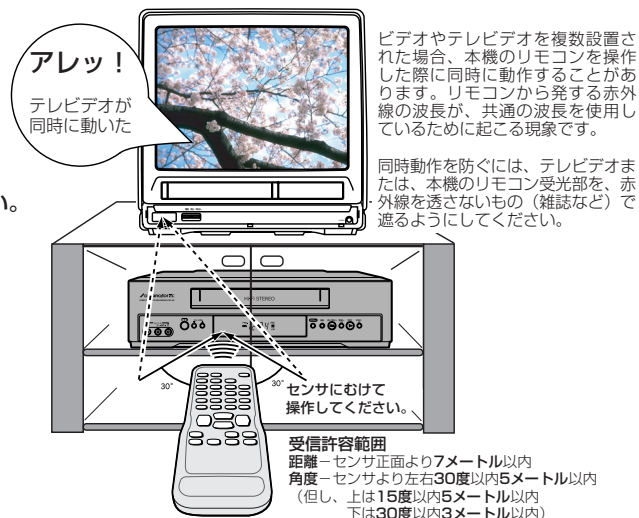
お使いになる前に

■ 各部のなまえ

本体前面

本体表示部の表示例 （説明のため、すべて表示しています。）

本機の表示部はカウンター表示（再生・録画時間の表示）しません。
カウンター（再生・録画時間）の確認はテレビ画面で行なってください。
詳しくは44ページをご覧ください。

本体後面

あどばいす

- テープ走行中(再生／録画中など)に電源プラグをコンセントから抜かないでください。テープのから回りなど、故障の原因となります。
- 電源プラグを抜くときは、テープを取出し、電源ボタンで電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。

リモコン

電池の入れかた

「アルカリ乾電池ご使用の注意」
アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆(外枠の被覆がはがれているとき)に同時に接触したとき、乾電池そのものがショート(短絡)状態になり、ショートした部分が発熱しやけどする危険があります。
アルカリ乾電池をご使用になるときは、被覆がやぶれたり、はがれていないものをご使用ください。

リモコンの操作方法について

ビデオやテレビデオを複数設置された場合、本機のリモコンを操作した際に同時に動作することがあります。リモコンから発する赤外線の波長が、共通の波長を使用しているために起こる現象です。

同時動作を防ぐには、テレビデオまたは、本機のリモコン受光部を、赤外線を透さないもの（雑誌など）で遮るようにしてください。

受信許容範囲
距離－センサ正面より**7メートル**以内
角度－センサより左右**30度**以内**5メートル**以内
（但し、上は**15度**以内**5メートル**以内
下は**30度**以内**3メートル**以内）

あどばいす

- リモコン操作ができる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗しています。新しい乾電池に交換してください。
(※付属の乾電池は動作確認用です。)
- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取出してください。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や強い光を当てないようにしてください。誤動作の原因になります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池を一緒に入れないでください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に入れないでください。

接続・設定について

設置の手順

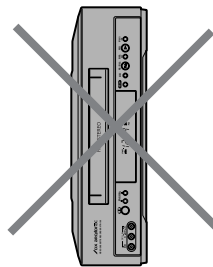
1 接続
- アンテナ線をつなぐ（下記）
- 本機とテレビをつなぐ（12ページ）
- すべての接続が終わったら、本機の電源プラグをコンセントにつなぐ

2 リモコンの準備
- 各部のなまえ（9ページ）
- 本製品の機能操作について（12ページ）

3 時刻設定
- 電源を入れる
- 日付と時刻を合わせる（14ページ）

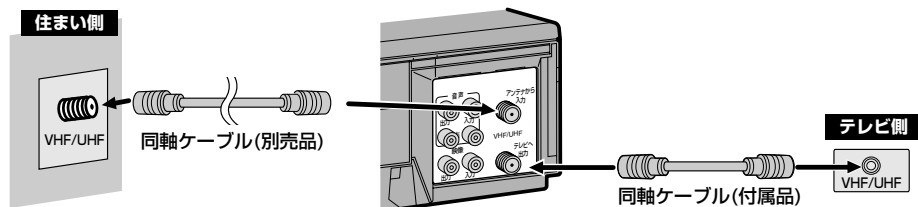
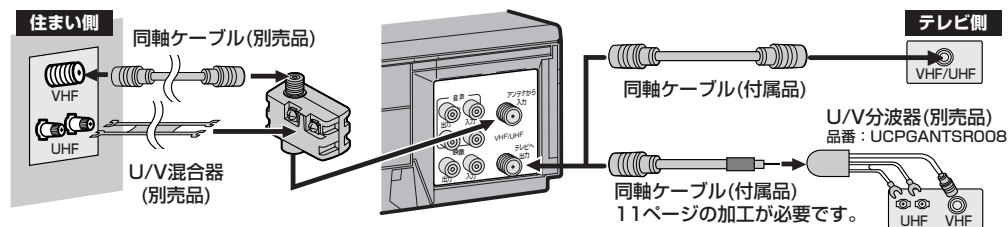
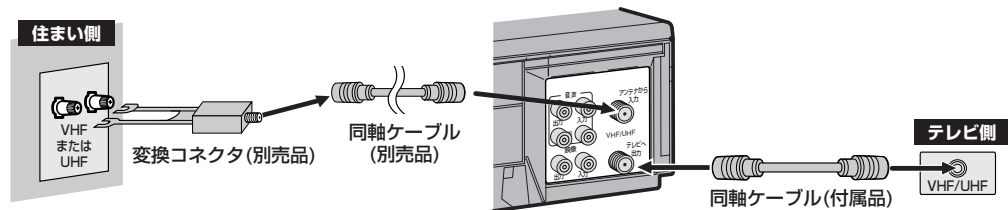
4 受信チャンネル設定
- 自動チャンネルの設定（16ページ）
- 不要なチャンネルの削除（スキップ）とチャンネル復帰（18ページ）
- チャンネル設定の変更（手動設定）（20ページ）

■ タテ置きについて

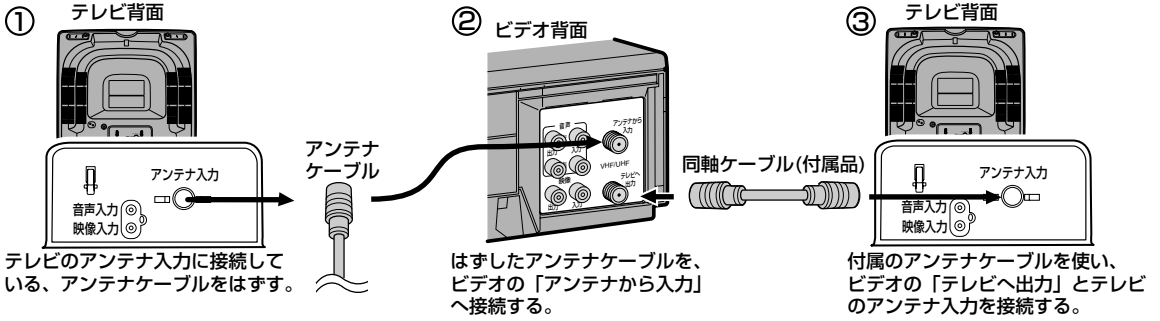
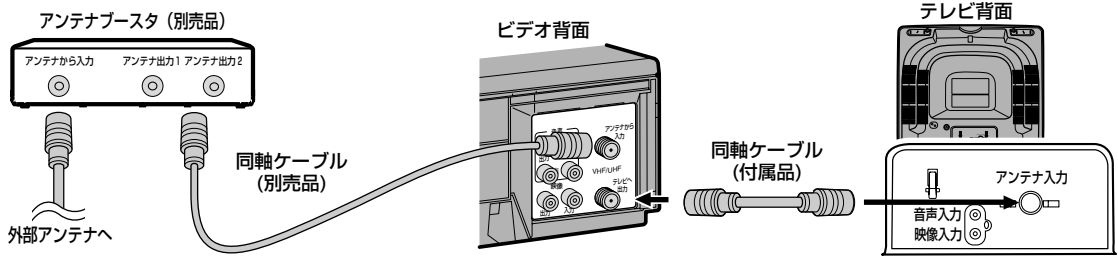
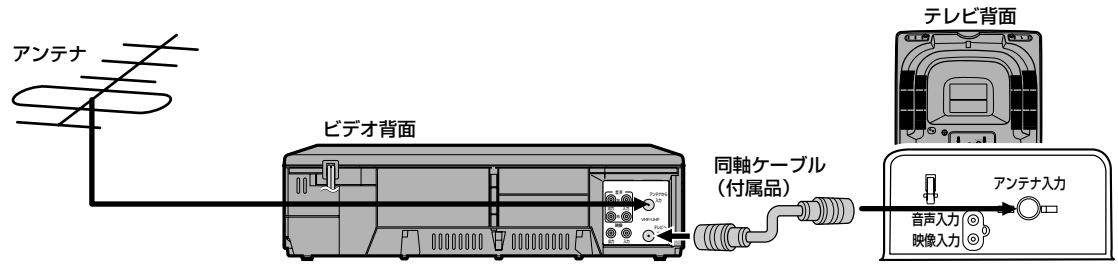
- タテ置きではご使用にならないでください。誤動作の原因になります。

■ アンテナ線をつなぐ

接続に使う部品（必要に応じて付属品または別売品をご準備ください）

1. 現在お使いのテレビアンテナ線をビデオの「アンテナから入力」端子へ接続してください。
2. ビデオの「テレビへ出力」端子からテレビのアンテナ入力端子へ接続してください。

住まい側にVHF/UHF混合アンテナ線がついている場合

住まい側にVHFとUHFアンテナ線の両方がついている場合

住まい側にVHFまたはUHFアンテナ線がついている場合

あどばいす

アンテナ接続について…
- アンテナ線の接続をしないと、テレビ放送の録画はできません。
- お手持ちのテレビやお住まいの地域によってアンテナ線の種類やテレビとの接続方法はちがいます。
- アンテナ線の種類により、アンテナプラグ(別売品)やU/V混合器(別売品)が必要です。
- 電波が弱い地域の場合、「アンテナブースタ（別売品）」をご使用いただくことにより、電波の強さを全体に増幅させることはできますが、ノイズも同じく増幅されるために、テレビ画像にノイズが残るときがあります。
  詳しくは販売店にご相談ください。

現在お使いのテレビにビデオを接続する場合

現在お使いのテレビにビデオを接続する場合（電波が弱い場合の接続方法）

お使いのテレビにビデオを接続する略図

■ 同軸ケーブルの加工のしかた

1 黒いビニールだけを切り取る
- 金属の網線に傷をつけないように注意してください。
（刃物の取り扱いにご注意ください。）

2 金属の網線を折り返す

3 白いビニールだけを切り取る
- 心線に傷をつけないように注意してください。

4 心線を出す
- 上図の寸法は加工の目安です。

■ 同軸ケーブルとアンテナプラグ（別売品）のつなぎかた

1 アンテナプラグのツメをひらきながらはずす

2 同軸ケーブルを取り付ける
- 心線をはさみ、他所に接触しないように巻きつける。
- ペンチで金具をしめてケーブルを固定する。

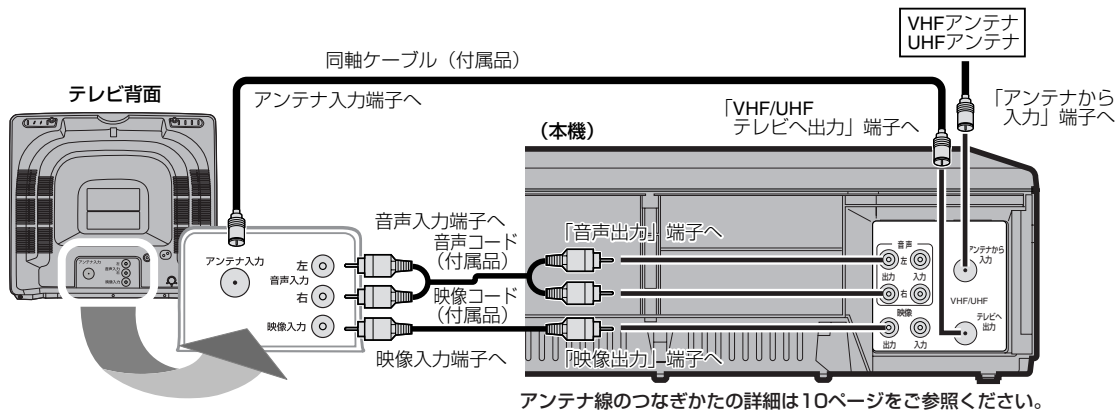
はさむ
心線
はさむ
はさむ
ケーブル

3 カバーを取り付ける

接続・設定について

■ 本機とテレビをつなぐ

テレビ側に映像/音声入力端子が装備されている場合…

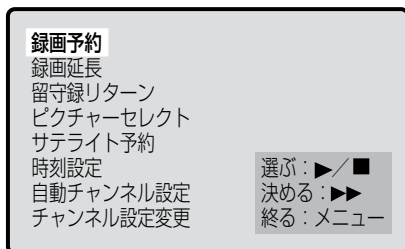
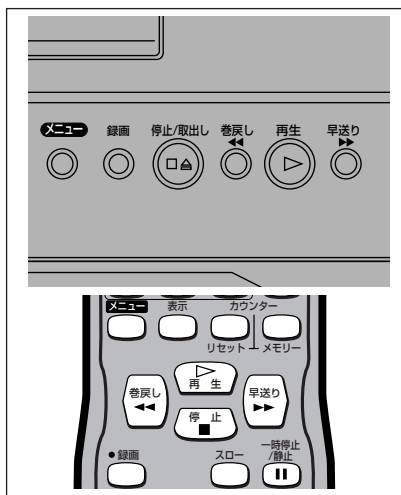
アンテナ線のつなぎかたの詳細は10ページをご参照ください。

- ビデオを見るときはテレビのチャンネルをビデオ(外部/AUXなど)にしてください。
- テレビ側にビデオ入力(映像/音声)端子がないときは本機と接続できません。

■ 本製品の機能操作について

本機はメニュー画面(下図1)にしたがい、各種機能を設定します。
また、この設定操作は本体または、リモコンのボタン(下図2)を使用します。
※以下(14ページ)の説明においては、リモコン主体とした説明となります。

図1 メニュー画面（テレビ画面）

図2 本体/リモコン 操作ボタン

各ボタンの名称と使用用途

使用用途	ボタン名称	本体	リモコン
・メニュー画面を呼び出す	メニュー	メニュー	メニュー
・メニュー項目の選択 ・録画予約時の数値選択	再生　停止	再生　停止/取出し	再生　停止 ■
・選択項目の確定/移動	早送り	早送り ▶▶	早送り ▶▶
・項目の戻り ・予約の取り消し	巻戻し	巻戻し ◀◀	巻戻し ◀◀
・録画予約の延長	録　画	録画	●録画
・録画予約の延長取り消し	一時停止/静止	—	一時停止/静止

項目の選択は青白反転表示を移動させて行います。
これを「カーソル」と言います。
再生ボタンを押すと上へ移動または大きい数字になり、
停止ボタンを押すと下へ移動または小さい数字になります。

■ 消費電力(省エネ設計)について

本機は待機時（電源OFF時）の消費電力を低減する省エネ設計になっています。
お客さまの用途に合わせてご使用ください。

■ 日付と時刻を合わせる（自動時刻修正チャンネル設定）

本体表示部の時計表示が「－：－－」になっているときは、時計を合わせてください。
（時計合わせをしないと、録画予約はできません。）
電源が「入」になっていることを確認してください。操作は、テレビにメニュー画面を表示して行います。

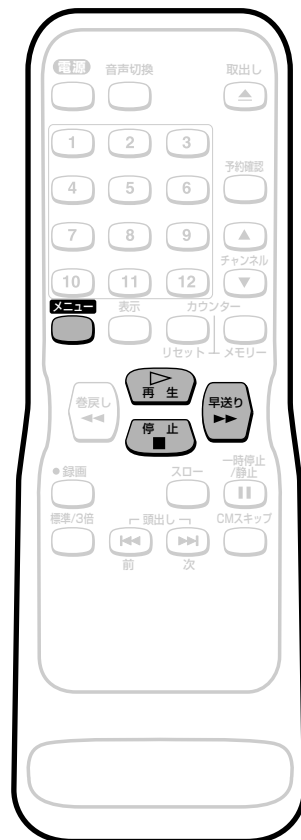
1

を押してメニュー画面を表示させます。

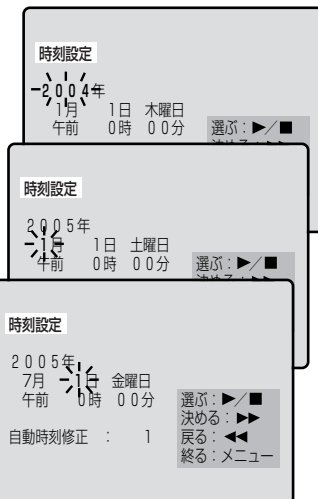
を押して**時刻設定**を選びます。

を押して次の画面へ移ります。

＊再生ボタンを押すと、カーソルが上へ移動し、停止ボタンを押すと、下へ移動します。

2

を押して**年**を合わせます。

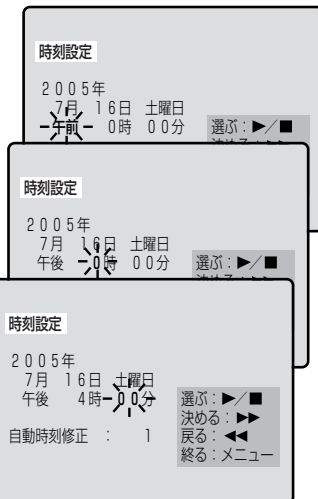
を押して次の項目へ移ります。

• **月**／**日**についても同様の操作で合わせます。

＊再生ボタンを押すと、大きい数字に変わり、停止ボタンを押すと、小さい数字に変わります。

3

を押して**午前**または**午後**を選びます。

を押して次の項目へ移ります。

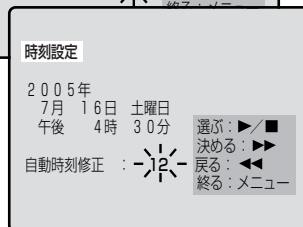
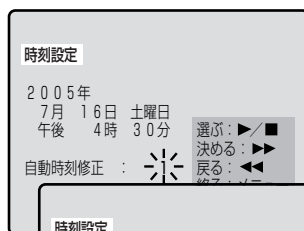
• **時**／**分**についても同様の操作で合わせます。

あどばいす

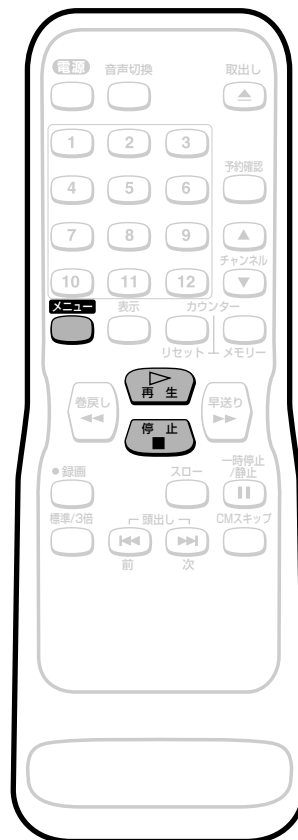
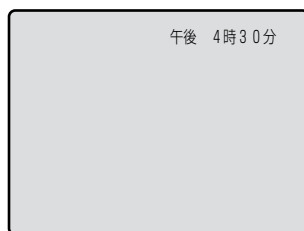
手順2、3は、入力後8秒経過すると自動的に次の項目へ移動します。

ご準備

4 で**自動時刻修正チャンネル**を合わせます。

- **自動時刻修正チャンネル**は各地域のNHK教育テレビのチャンネルに合わせてください。

＊ 巻戻しボタンを押すと1つ前の操作に戻ることができます。

5 で終了します。

- 設定した時刻が右上に表示され、**5秒後**に消えます。
- 電話**117番**などの時報と同時に**メニューボタン**を押すと、同時に**時計カウント**がスタートし、正確に時刻を合わすことができます。

ご準備

あどばいす

- 時計合わせが行われていないときに録画予約を選ぶと、時刻設定の画面になります。
- 年→月→日→午前/午後→時→分→自動時刻修正の設定は、入力後8秒経過すると自動的に次の項目へ移動します。設定が合っているときは、早送りボタンを押すことにより、設定したい項目に進むことができます。
- 電源プラグを抜いても約30秒間は現在時刻を記憶していますが、ほかの設定は消えてしまうので再度設定を行なってください。
- 30秒以上の停電があった場合や、30秒以上電源プラグをコンセントから抜いていた場合は、本機のバックアップ機能が働きませんので時刻設定を再度設定してください。（その時の表示はー：ーー）
- 数字を選ぶときに再生/停止ボタンを押し続けると、表示される数字が早く変わります。
- 本機には2004年～2053年まで設定可能な50年カレンダーが内蔵されています。
（カレンダーは2004年1月1日から表示されます。）

自動時刻修正について…

- 時刻のずれが5分以内の場合は自動的に現在時刻に修正されます。時刻が5分以上ずれている場合は、時刻を合わせて直してください。
- 自動チャンネル設定およびチャンネル設定変更でチャンネルを設定し直した場合は、自動時刻修正チャンネルを再度設定してください。
- 自動時刻修正は、NHK教育テレビの時報に合わせて毎日(午後0時、7時)自動的に時計を修正する機能です。ただし本機を使用中（電源が入っている時）は、動作しません。
- 午後0時と7時に録画予約、サテライト予約が設定されている場合は自動時刻修正されません。
- 時報が放送される時刻に、時報のバックに音楽が流れているとき、「ポッポッポッポーン」の「ポーン」のみの時報のとき、時報以外が放送される（特別番組など）とき、自動時刻修正されません。

■ 自動チャンネルの設定

お買い上げ時や、お引越しなどでお住まいの地域が変更になった場合は、自動チャンネル設定を行なってください。お住まいの地域で受信可能なチャンネルを本機が設定します。

1

でメニュー画面を表示させます。

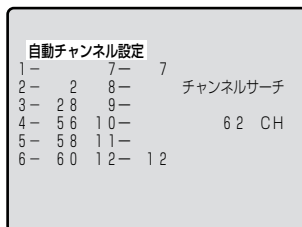
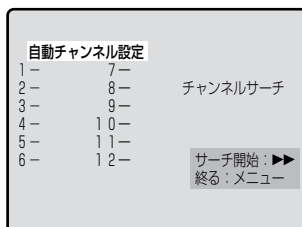
で**自動チャンネル設定**を選びます。

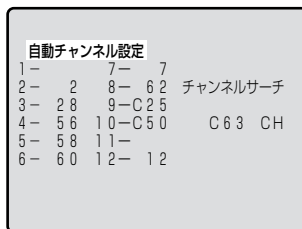
で「自動チャンネル設定」画面に移ります。

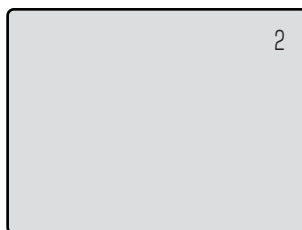
＊再生ボタンを押すとカーソルが上へ移動し、停止ボタンを押すと下へ移動します。

2

でサーチを開始します。

- **1チャンネルから順次、受信可能なチャンネルを探していきます。**

3

- チャンネルサーチ中
- **最終チャンネルのC63CHが表示されるまで、しばらくお待ちください。**
- **チャンネルサーチ中にほかの操作をすると、正常なチャンネルが設定されませんのでご注意ください。**

4

- チャンネルサーチ終了後、記憶された最小チャンネルが画面に表示されます。
- **5秒後**、通常画面に戻ります。

ご準備

自動チャンネル設定(受信ステップ)について

(1)【VHF】 1ch〜12ch
↓
(2)【UHF】 13ch〜62ch
↓
(3)【CATV】C13ch〜C63ch

- 上記の順に自動チャンネル受信設定をしていきます。
- 設定には多少時間がかかります。

※CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ホームターミナル(アダプタ)が必要になります。CATVの受信は、サービスの行われている地域のみです。詳しくは、CATV会社にご相談ください。

あどばいす

- 自動チャンネル設定を一度行えば本体に記憶されるため、停電などの場合でも設定をやり直す必要はありません。
- 引越などでお住まいの地域が変更になった場合は、再度「自動チャンネルの設定」を行なってください。
- 「自動チャンネルの設定」および「チャンネル設定の変更」でチャンネルを設定し直した場合は、自動時刻修正チャンネルを再度設定してください。
- 本機は、36チャンネル分を記憶することができます。
  チャンネルサーチ動作途中で、36チャンネル分がすべて記憶された場合、その時点でチャンネルサーチは終了します。
  自動チャンネル設定された以外のチャンネルを記憶させるには、不要なチャンネルを削除し、新たに記憶させたいチャンネルを手動で設定する必要があります。この操作をするには、18ページの「不要なチャンネルの削除(スキップ)とチャンネル復帰」をご覧ください。

■ 不要なチャンネルの削除(スキップ)とチャンネル復帰

自動チャンネル設定が終わったあと、受信チャンネルの確認を行なってください。空チャンネルや電波が弱くてはっきりと映らないチャンネルなどを飛び越すように設定できます。

● CH番号「3」に19チャンネルが記憶されている場合、19チャンネルを削除(スキップ)するには…

1

でメニュー画面を表示させます。

で**チャンネル設定変更**を選びます。

で「チャンネル設定変更」画面に移ります。

＊再生ボタンを押すとカーソルが上へ移動し、停止ボタンを押すと下へ移動します。

2

で削除(スキップ)したい**CH番号**を選びます。

＊再生ボタンを押すとカーソルが上へ移動し、停止ボタンを押すと下へ移動します。

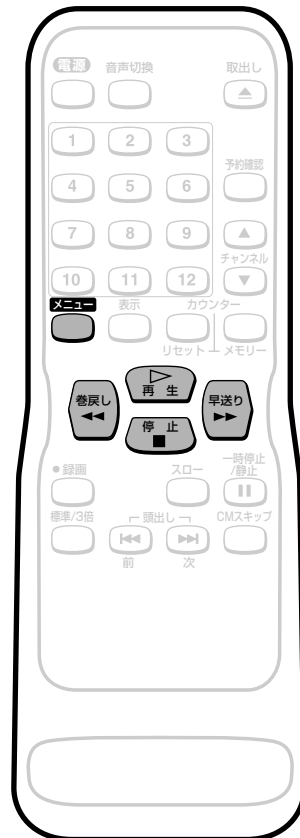
を押します。

で削除(スキップ)します。

• 自動チャンネル設定をしていない場合、**「受信ー表示」**欄の番号は表示されません。

• ほかの不要なチャンネルを削除(スキップ)したい場合は、**早送りボタン**でカーソルを**CH番号**に戻し、上記の操作を繰り返してください。

3

で終了し、通常画面に戻ります。

● 1度削除(スキップ)したチャンネルを復帰するには…

1

でメニュー画面を表示させます。

で**チャンネル設定変更**を選びます。

で「チャンネル設定変更」画面に移ります。

＊再生ボタンを押すとカーソルが上へ移動し、停止ボタンを押すと下へ移動します。

2

で復帰したい**CH番号**を選びます。

＊再生ボタンを押すとカーソルが上へ移動し、停止ボタンを押すと下へ移動します。

を押します。

で復帰します。

• ほかのチャンネルを復帰したい場合は、**早送りボタン**でカーソルを**CH番号**に戻し、上記の操作を繰り返してください。

3

で終了し、通常画面に戻ります。

ご準備

接続・設定について

■ チャンネル設定の変更（手動設定）

受信チャンネルおよび画面に表示されるチャンネル番号を設定・変更することができます。

● CH番号「3」に19チャンネルを受信させ、画面表示を「3」にするには…

1

でメニュー画面を表示させせます。

で**チャンネル設定変更**を選びます。

で「チャンネル設定変更」画面に移ります。

＊再生ボタンを押すとカーソルが上へ移動し、停止ボタンを押すと下へ移動します。

2

で変更したい**CH番号**を選びます。

を押します。

＊再生ボタンを押すとカーソルが上へ移動し、停止ボタンを押すと下へ移動します。

3

で受信内容を変更します。

で次の画面へ移ります。

4

で表示内容を変更します。

※CH番号か受信番号の表示になります。

- ほかのチャンネル表示を変更したい場合は、**早送りボタン**でカーソルを**CH番号**に戻し、**2**～**4**の操作を繰り返してください。

5

で終了し、通常画面に戻ります。

あどばいす

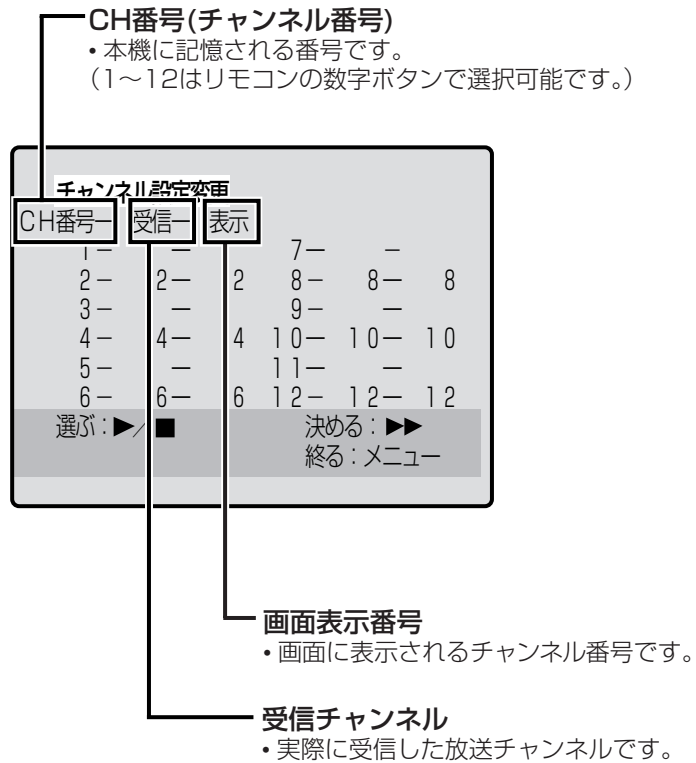
- **チャンネル設定の変更中に表示ボタンを押すと、テレビをご覧になれます。**

ご準備

■ チャンネル設定変更画面について

• 本機に記憶される番号です。
（1～12はリモコンの数字ボタンで選択可能です。）

画面表示番号
• 画面に表示されるチャンネル番号です。

受信チャンネル
• 実際に受信した放送チャンネルです。

あどばいす

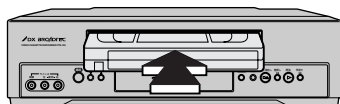
• 画面表示番号はCH番号（チャンネル番号）か、受信チャンネル番号のどちらかのみになります。任意に数字を設定することはできません。
• CH番号（チャンネル番号）と受信チャンネル番号が同じときは、画面表示番号の変更はできません。すべて同じ番号となります。

ビデオを再生する

■ 再生のしかた

テレビの電源を入れ、テレビのチャンネルを「ビデオ（外部/AUXなど）」にしてください。

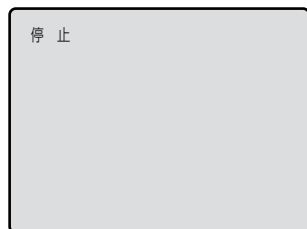
● ビデオカセットテープの再生をするには…

1 **ビデオカセットテープを挿入すると、自動的に電源が入ります。**
(ツメが折れているテープの場合は、自動的に再生が始まります。)

2

を押すと再生が始まります。

• 画面上の「ノーマル」表示は、ピクチャーセレクトの設定項目を表しています。

3 停 止 ■ を押すと再生は止まります。

• ビデオカセットテープを取出すときは、ビデオ停止中に本体の停止/取出しボタンまたはリモコンの取出しボタンを押します。

あどばいす

トラッキング調整について
ほかのビデオで録画したテープを本機で再生すると、映像にノイズが発生するときがあります。その調整を行うのが、トラッキング調整で、デジタル調整(自動)とマニュアル調整(手動)の2つの方法があります。初期状態ではテープを再生するとデジタルトラッキング調整が自動的に行われますが、ノイズが少なくならないときはマニュアルトラッキング調整をしてください。

デジタルトラッキング調整
• 再生中、自動的に調整します。

マニュアルトラッキング調整
• デジタルトラッキング時にテレビ画面を見ながら、ノイズが最も少なくなる状態までチャンネル(▲▼)ボタンを押して調整してください。画面ノイズの発生状況は録画テープにより異なります。（ノイズが少なくなるまで、チャンネル(▲▼)ボタンを数回押すか、押し続けてください。）
• デジタルトラッキングに戻すには、再生中に停止ボタンを押し、もう一度再生ボタンを押す。またはビデオカセットテープを入れ直してください。

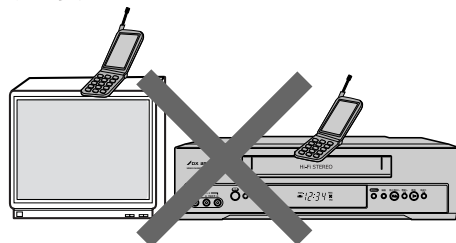
ビデオの再生について
• ビデオカセットテープ挿入直後や、再生停止のあと再び再生ボタンを押すと約1.5秒で画面に映像がでます。（クイックプレイ機能）ただし停止後5分以上放置すると、テープ保護のためクイックプレイ機能は働きません。
• デジタルトラッキング調整中は、画面にノイズがでることがありますが故障ではありません。
• ほかのビデオカセットテープレコーダで録画したテープを再生／静止画にしたとき、トラッキング調整してもノイズが消えないことがあります。

画面表示について
テープカウンターや時計、チャンネルを画面上に表示させるときは表示ボタンを押してください。(44ページ)

S-VHS簡易再生機能(SQPB)について
S-VHS方式で録画されたビデオカセットテープを簡易的に見ることができます。再生のしかたはノーマルVHSテープと同じです。
• S-VHSかノーマルVHSかを自動的に判別し再生します。
• S-VHS本来の高解像度は得られません。また画面にノイズがでる場合があります。
• 本機ではS-VHS録画はできません。
• SQPBとはS-VHS Quasi Playbackの略です。
• ビデオサーチ／静止の時は、映像が乱れたり色が抜けたりしますが、故障ではありません。

ご注意

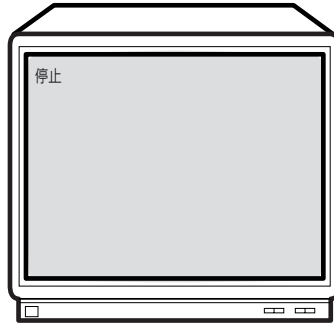
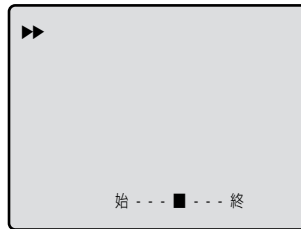
携帯電話をご使用になる時はテレビやビデオに近づけないでください。
• 音声に異音が入ったり、テレビにノイズが出たりする場合があります。異音がでたり、テレビにノイズがでたりした場合には、携帯電話を離してご使用ください。

見る

■ 早送り/巻戻しのしかた

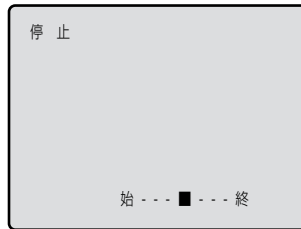
● 早送り/巻戻しをするには…

1 再生中の場合は、

を押して再生を止めます。

2

を押します。

3 停 止 を押すと**早送り／巻戻し**は止まります。

- 巻き戻しは2段階で行います。高速巻き戻しから低速巻き戻しにかわる際、一度停止しますので、その時点で取出されますと完全に巻き取られていない場合があります。

見る

■ スロー再生（音声はでません。）

1/5～1/30倍速にスピードを変えて、スロー再生ができます（初期値は1/12倍速）。

1 スロー を**再生中**に押します。

- スロースピードを変えるときは…
  早送りボタンを押す…速くなります。
  巻戻しボタンを押す…遅くなります。
- スロー再生が**5分以上**続くと、テープ保護のため自動的に**停止**します。

2

を押すと**通常の再生**に戻ります。

あどばいす

- スロー再生は再生時以外は操作できません。

スロー画面でノイズが出るときは…
- チャンネル(▲▼)ボタンでノイズがでないようにトラッキング調整してください。

ビデオを再生する

■ ビデオサーチ（音声はでません。）

画面を見ながら、早送り再生／巻戻し再生ができます。

● ビデオサーチ

1

再生中に

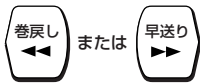
を押すと**5倍速**で**再生**します。

を押すと**通常の再生**に戻ります。

● 2段階ビデオサーチ

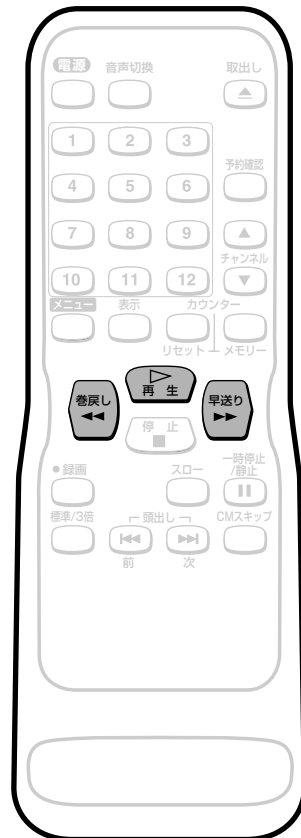
2

［録画モード3倍で録画したテープの場合のみ］

再生中に

を押すと**5倍速**と**15倍速**の**2段階**でビデオサーチできます。

- **1度押す**…**5倍速**で再生します。
- **2度押す**…**15倍速**で再生します。

を押すと**通常の再生**に戻ります。

録画モード／操作方法	「標準」	「3倍」
再生中に1度押す	5倍速で再生	5倍速で再生
再生中に2度押す		15倍速で再生

あどばいす

- ビデオサーチは再生時以外は操作できません。
- ビデオサーチ中は画面にノイズがでますが故障ではありません。
- ビデオサーチを始めるときや、通常の再生に戻すとき、一瞬画面が乱れることがありますが故障ではありません。

見る

■ ピクチャーセレクト

ビデオを再生する際に映像を選択(ノーマル・ソフト・クッキリ)できます。

1

でメニュー画面を表示させます。

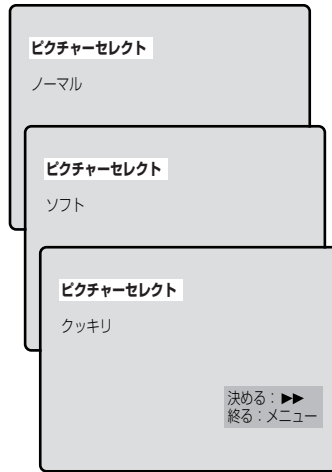
でピクチャーセレクトを選びます。

で「ピクチャーセレクト」画面に移ります。

＊再生ボタンを押すとカーソルが上へ移動し、停止ボタンを押すと下へ移動します。

2

で**ノーマル／ソフト／クッキリ**を選びます。

メニュー で終了し、通常画面に戻ります。

※この画面の状態のまま**5秒経過**すると設定モードが自動的に終了します。

この設定はテープを取出しても変わりません。

見る

■ 静止画再生（音声はでません。）

一瞬の場面などを、止めて見ることができます。

1 を**再生中**に押します。

- 静止画再生が**5分以上**続くと、テープ保護のため自動的に**停止**します。

2 再生 を押すと**通常の再生**に戻ります。

あどばいす

- 静止画再生中に一時停止/静止ボタンを押すと、1コマ送ることが出来ます。
- 静止画再生は再生時以外は操作できません。

静止画面でノイズがでるときは…

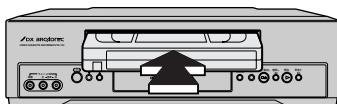
- 一旦、スロー再生にしてチャンネル(▲▼)ボタンでノイズをなくしたあと、もう一度静止画面に戻してください。
- 画像がブレる場合は、チャンネル(▲▼)ボタンで画像のブレがなくなるように調整してください。
  (場合によっては調整で改善できないことがあります。)
- ほかのビデオカセットテープレコーダで録画したテープを静止画再生にしたとき、トラッキング調整してもノイズが消えないことがあります。

■ テレビ番組の録画

テレビの電源を入れ、テレビのチャンネルを「ビデオ（外部/AUXなど)」にしてください。

● 番組を見ながら録画するには…

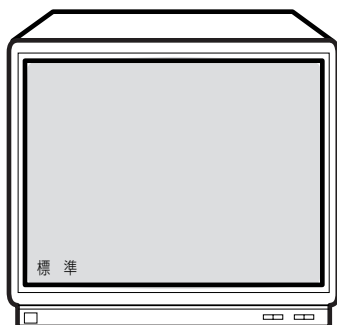
1

• ツメの折れていないテープを入れる。
（ツメが折れている場合は録画できません。）

2

標準/3倍

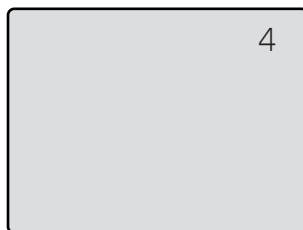
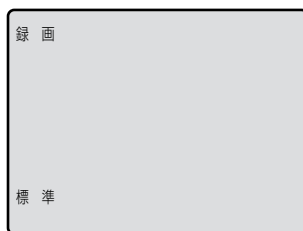
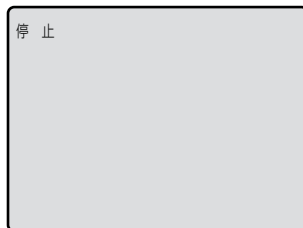
を押して**録画モード**を選びます。

• **標準モード**
画質を優先したいとき
• **3倍モード**
録画時間を長くしたいとき

3

を押してお好みのチャンネルを選びます。

4

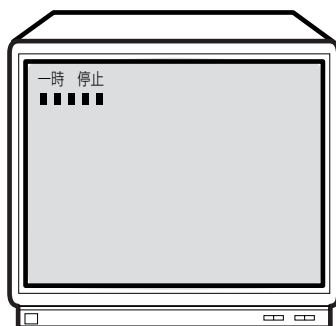
を押すと**録画**が始まります。

5

を押すと録画を**停止**します。

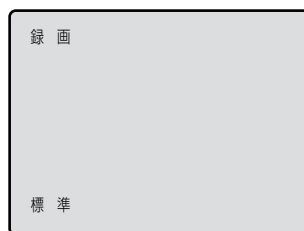
ビデオに録画する

● 録画中にコマーシャルなどをカットするには…

1 一時停止/静止 を押すとテープの走行は**一時停止**します。

- ▮マークは1分毎に1個ずつ左から消えていきます。また、本体表示部のRECマークが点滅します。
  最後の▮マークは点滅し、録画停止から合計5分経過するとテープ保護のため、自動的に録画が停止します。

2 一時停止/静止 を**もう一度**押すと、録画を再開します。

- **録画ボタン**を押しても録画は再開できます。

録る

あどばいす

録画モードについて
- リモコンの標準／3倍ボタンで録画モードを選びます。
- 画質、音声を優先するときは標準、録画可能時間を優先するときは3倍で録画してください。
  ただし3倍で録画すると画質／音質は、標準より劣ります。

録画中に録画チャンネルを変えるには…
- 一時停止／静止ボタンを押してからチャンネル(▲▼)ボタンで変えます。

録画中にテープが終わると…
- 自動的にテープを巻戻し、排出して電源が切れます。

録画中にテレビを見るには…
- テレビ側のチャンネルでお好きな番組を選択してください。

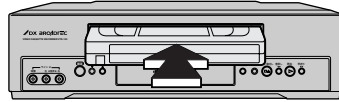
■ ワンタッチタイマ録画（すぐにタイマ録画をしたいとき）

簡単・手軽に録画を始めることができ、録画時間を30分単位で最大8時間まで設定できます。
テレビを見ている途中で「電話がかかってきた」「急にお客様が来られた」「録画中に外出する用事ができた」といったときに便利です。

テレビの電源を入れ、テレビのチャンネルを「ビデオ（外部/AUXなど）」にしてください。

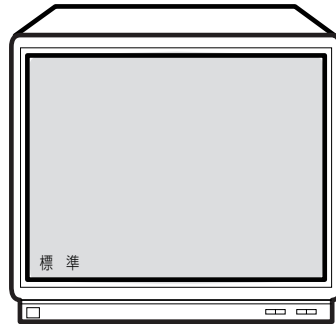
● ワンタッチタイマ録画をするには…

1

- ツメの折れていないテープを入れる。（ツメが折れている場合は録画できません。）

2

標準/3倍 を押して**録画モード**を合わせます。

- **標準モード**
  画質を優先したいとき
- **3倍モード**
  録画時間を長くしたいとき

標 準

3

●録画 を**1回**押すと**通常の録画**になります。

録 画 0：30

標 準

- **録画ボタン**を押すごとに**30分単位**で録画時間が加算されます。
- **ツメ**の折れたテープが入っている場合、テープは出てきます。
- 録画時間が終了すると自動的に電源が切れます。
- ワンタッチタイマ録画中は本体表示部にREC.と が点灯します。

録画時間セットについて

- **録画ボタンを押すごとに、30分単位最大8時間まで、録画時間をセットできます。**
- **画面表示は次のように変わります。**

4

を押すと**ワンタッチタイマ録画**は止まります。

あどばいす

- ワンタッチタイマ録画中は、ワンタッチタイマ機能とストップ機能以外は働きません。一時停止などもできません。
- ワンタッチタイマ録画中にテープが最終端になると自動的に録画を停止し、テープを排出して電源が切れます。
- ワンタッチタイマ録画中に停電があると、録画が停止して電源が切れます。通電後も録画は再開しません。

録画時間表示について

- ワンタッチタイマ録画が始まると録画時間表示は1分単位でカウントダウンしていき、残りの録画時間表示となります。(残りの録画時間を確認するには表示ボタンを押してください。)(44ページ)

ビデオに録画する

■ 録画予約

あらかじめ予約した開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると電源が切れます。
1年以内の8つの番組の録画、または毎日録画、毎週録画を予約できます。

● **予約番号「1」に、2005年7月16日(土曜日)、午前11時30分～午後2時50分に放映される「7」チャンネルの番組を、録画モード3倍で録画するには…(時計合わせをしないと録画予約できません。)**

1

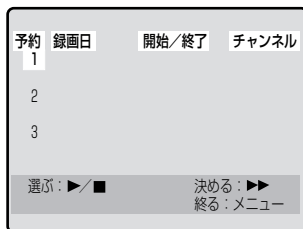
でメニュー画面を表示させます。

で次の画面へ移ります。

2

• **予約番号**を**1**にします。

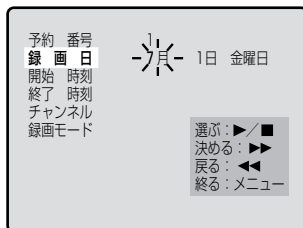
で**予約番号**を選びます。

で次の項目へ移ります。

＊再生ボタンを押すとカーソルが上へ移動し、停止ボタンを押すと下へ移動します。
（予約番号1が選択されているときに再生ボタンを押すと予約番号8を選択できます。）

3

• **日付**を**7月16日（土曜日）**にします。

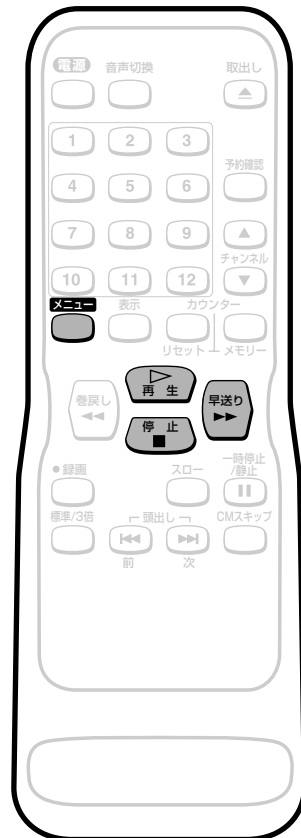
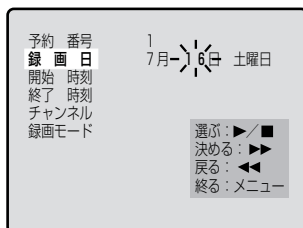
で**月**を選びます。

＊再生ボタンを押すと大きい数字に変わり、停止ボタンを押すと小さい数字に変わります。

で毎週・毎日録画が選べます。

7月…12月…6月⇔毎週 日曜日…毎週 土曜日⇔毎日 月曜日－金曜日

※毎日予約は月曜日から金曜日までの毎日となります。

で次の項目へ移ります。

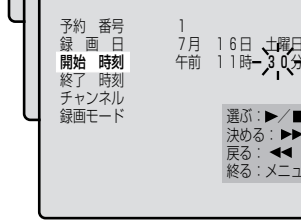
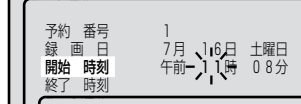
• **日**についても同様の操作で設定します。
（曜日は自動的に変わります。）

手順3～6は、入力後8秒経過すると自動的に次の項目へ移動します。

4

• **開始時刻**を**午前11時30分**にします。

で**開始時刻**の**午前**を選びます。

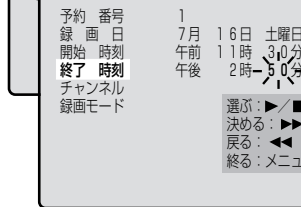
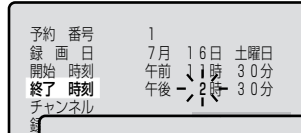
で次の項目へ移ります。

• **時**／**分**についても同様の操作で設定します。

5

• **終了時刻**を**午後2時50分**にします。

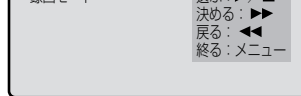
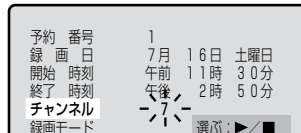
で**終了時刻**の**時**を選びます。

で次の項目へ移ります。

• **分**についても同様の操作で設定します。
• **終了時刻は開始時刻から12時間以内となりますので、午前/午後は自動的に設定されます。**

• **チャンネル**を**7**にします。

で**チャンネル**を選びます。

で次の項目へ移ります。

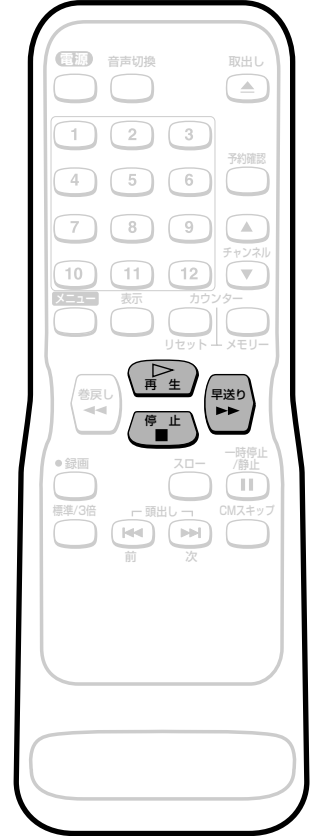
予約 番号 1
録 画 日 7月 16日 土曜日
開始 時刻 午前 11時 30分
終了 時刻 午後 2時 50分
チャンネル 7
録画モード
選ぶ：▶／■
決める：▶▶
戻る：◀◀
終る：メニュー

• **録画モード**を**3倍**にします。

で**録画モード**を選びます。

• **標準モード**
画質を優先したいとき
• **3倍モード**
録画時間を長くしたいとき

で手順2の画面に戻ります。

• **入力した内容が手順2の画面に追加されます。**
• **続けてほかの予約番号に録画予約する場合は手順2〜7を行なってください。**

で終了し、通常画面に戻ります。

録る

8 電源 を押して**電源**を切ると予約スタンバイ（タイマ待機中）状態になります。

• 本体表示部に が点灯します。

• 録画予約動作中に録画を止めるには、本体の停止/取出しボタンを押します。
• 録画予約設定後に予約内容の修正/取り消しをするには、37ページをご覧ください。

予約録画完了後の本機のご使用について

予約録画終了後に本体表示部の が点滅することがあります。
これはすべての予約録画が完了し、次の予約が入っていないことを示してます。
この時、電源はオフとなっておりますので、再び本機をご使用になるには電源ボタンを押し、 の点滅が解除されたことを確認してください。

あどばいす

• 時計が合っていることを確認してください。（録画予約は、時計を合わせていないと設定できません。）
時計合わせが行われていない時に録画予約を選ぶと、時刻設定の画面になります。
• ビデオカセットテープを入れずに、録画予約を設定すると が点滅します。ツメの折れていない、残量に余裕のあるビデオカセットテープを入れてください。ビデオカセットテープを入れると予約スタンバイ状態になります。
• ツメ折れテープを入れ予約設定を行なった場合、予約スタンバイ状態になるとテープが排出され が点滅します。ツメの折れていないビデオカセットテープを入れ直してください。
• 手順3〜6の設定では、操作してから8秒後に次の設定へ自動的に移ります。
• 初めから設定が合っているときは、早送りボタンを押すと次の操作に進むことができます。
• リモコンの巻戻しボタンを押すことにより1つ前の操作に戻ることができます。

録画予約セット後は…
• 録画開始時刻までは電源が切れています。録画開始時刻までに本機を使用するときは、電源ボタンを押し予約スタンバイを解除してください。本機を使用されたあとは、必ず電源ボタンを押して電源を切ってください。
• 録画予約動作中にテープが最終端になると、自動的に録画を停止し、テープを排出して電源が切れます。（テープは巻き戻しされません。）新しいテープを挿入すると録画を再開します。
• 録画予約動作中は、本体の停止ボタンを押すと録画が止まります。

予約した時間が重なると…
• 同じ時間に予約が重なっている場合は、録画時刻の早いほうを優先します。
たとえば下図のような予約の場合、予約番号1の番組が7時から10時まで録画されたあと、予約番号2の番組が10時から11時まで録画されます。

• スポーツ中継などで番組がずれると予想される場合は、予約終了時間を長めにセットしておくことをおすすめします。
• 午後11時から午前1時までなど、日にちをまたぐ予約設定をするには、録画開始日を入力し、録画開始時刻を午後11時、終了時刻を午前1時に設定してください。

録る

■ 予約内容の確認

録画予約設定後に予約内容を確認できます。

● 一覧表で確認するには…

1

電源 を押して**電源**を入れます。

予約確認 で、予約内容が確認できます。

再生 または 停止 を押していくと、**予約番号4以降**を確認することができます。

メニュー で終了し、通常画面に戻ります。

• **メニュー でメニュー画面を表示させ、早送り で、次の画面へ移ることでも予約内容が確認できます。**

2

予約確認後は、電源 を押して**電源**を切り、必ず予約スタンバイの状態にしてください。

録る

■ 留守録リターン（タイマ録画終了後、テープが自動的に戻りすぐ見れる）

すべての録画予約終了後、自動的に最初の録画開始位置までテープを巻戻し電源が切れます。

1

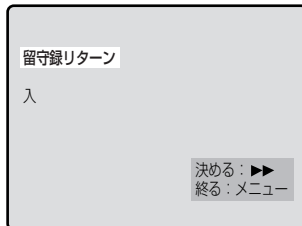
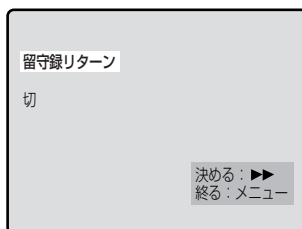
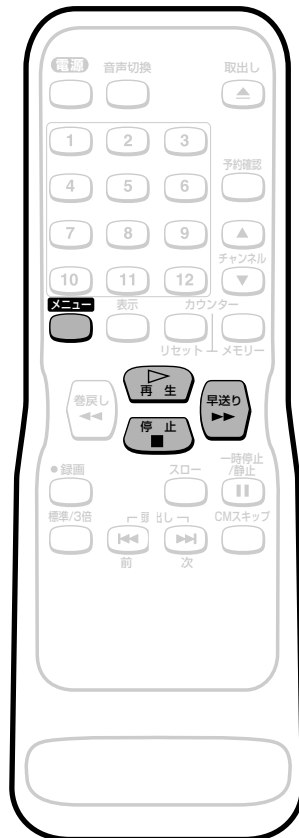
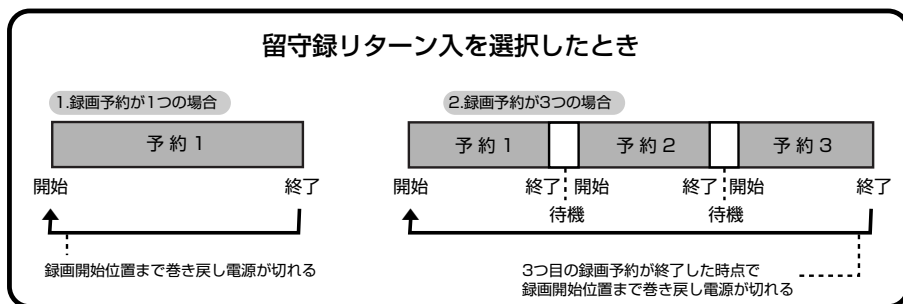
メニュー でメニュー画面を表示させます。

再生 または 停止 で**留守録リターン**を選びます。

早送り で次の画面へ移ります。

2

早送り で**入**／**切**を選びます。

3

メニュー で終了し、通常画面に戻ります。

あどばいす

• 毎日・毎週録画、サテライト予約録画、ワンタッチタイマ録画では留守録リターン機能は働きません。

■ 録画延長設定（予約時間を延長するとき）

スポーツ中継などの番組延長で、あとの番組の放送時間がずれたときに、簡単に予約時間を変更することができる機能です。

● 録画予約が開始されていない場合…

でメニュー画面を表示させます。

で**録画延長**を選びます。

で次の画面へ移ります。

で**時間延長**をしたい予約番号を選びます。

で次の画面へ移ります。

3

● 録画

を押すごとに開始／終了時刻が**10分間ずつ**延長されます。

・**リモコンの録画ボタンで時間延長したあとに、リモコンの一時停止ボタンを押すと、時間延長をする前の時間に戻すことができます。**

で終了し、通常画面に戻ります。

4

を押して**電源**を切ると予約スタンバイになります。

あどばいす

・毎日・毎週録画で設定された予約の場合は、録画延長設定はできません。
・予約時間の延長中に開始時刻が次の日になった場合は、自動的に録画日／曜日が次の日に替わります。

ビデオに録画する

● 録画予約が開始されている場合…

1

でメニュー画面を表示させます。

で**録画延長**を選びます。

で次の画面へ移ります。

2

で**時間延長**をしたい予約番号を選びます。

で次の画面へ移ります。

3

を押すごとに終了時刻が**10分間ずつ**延長されます。

- **リモコンの録画ボタンで時間延長したあとに、リモコンの一時停止ボタンを押すと、時間延長をする前の時間に戻すことができます。**

で終了し、通常画面に戻ります。

録る

あどばいす

- 録画中の予約時間を延長した場合は、自動的に録画モードが3倍に変更されます。また、リモコンの一時停止ボタンで元の時間に戻された場合も3倍モードのままになります。

■ 予約内容の修正/取り消し

録画予約セット後に予約内容を修正／取り消すことができます。

● 予約内容を修正するには…

1

電源 を押して**電源**を入れます。

予約確認 で、予約内容が確認できます。

再生 または 停止 で修正したい**予約番号**を選びます。

早送り で次の画面へ移ります。

• メニュー でメニュー画面を表示させ、早送り で、次の画面へ移ることでも予約内容が確認できます。

2

早送り で修正したい項目まで送ります。

再生 または 停止 で修正します。

早送り で決定します。

3

メニュー で終了し、通常画面に戻ります。

4

電源 を押して**電源**を切り、予約スタンバイ状態にします。

あどばいす

• 予約内容の修正／取り消し後は、必ず電源ボタンを押して電源を切り、予約スタンバイ状態にしてください。

録る

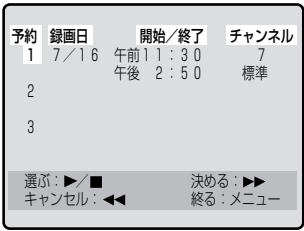
ビデオに録画する

● 予約内容を取り消しするには…

1

でメニュー画面を表示させます。

で次の画面へ移ります。

2

で取消したい**予約番号**を選びます。

で予約内容を取消します。

3

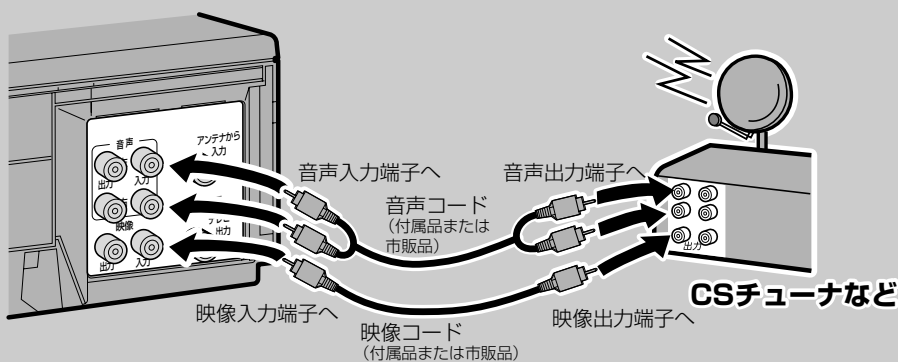
で終了し、通常画面に戻ります。

あどばいす

- 録画予約が開始されている途中で予約を取り消すには、本体の停止/取出しボタンを押し、その後、手順1から操作してください。

■ サテライト予約

CSなどの外部入力に連動して録画するときに便利です。背面入力端子(ライン1)に接続してください。(24時間以内)

● サテライト予約の設定をする前に本機とCSチューナなどを接続してください。

あどばいす

- サテライト予約は前面入力端子(ライン2)では動作しません。
- CSチューナの信号を感知してからビデオの動作に入るため、録画開始時間は数秒間の遅れが生じる場合があります。
- 本体の録画予約とCS番組のサテライト予約が同時刻または重なった場合、録画予約のほうが優先されます。
- 番組によってはコピーガード機能により正しく録画されない場合もあります。
- 録画モードはサテライト予約の設定に入る前に、標準/3倍ボタンで切換えてください。
- サテライト予約のスタンバイは設定の時間以降にビデオの電源がオンになると解除されます。
- サテライト予約動作中に録画を止めるには、本体の停止/取出しボタンを押します。

1

でメニュー画面を表示させます。

でサテライト予約を選びます。

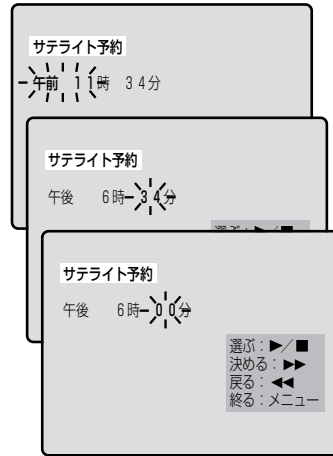
で次の画面へ移ります。

2

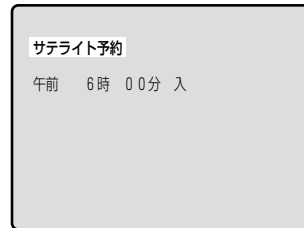
で**サテライト予約**を設定する時間を合わせます。(24時間以内)

で次の項目へ移ります。

で**分**を合わせます。

• はじめは現在の時刻が表示されます。

3

を押します。

• **入**が表示されます。

4

• **1秒後**自動的に**サテライト予約スタンバイモード**になります。
• 本体表示部に 🛰 が点灯します。

あどばいす

• 24時間以上先の予約については、通常の録画予約を行なってください。

録る

■ 音声多重放送について

本機をステレオテレビやお手持ちのステレオと接続すると、ステレオ放送や二重音声(2ヵ国語)放送を楽しめます。

● 送られてくる音声の画面表示について

・**表示ボタン**を押すとテレビ画面右上に音声モードが表示され確認できます。

● ステレオ放送を受信したときや、Hi-Fi録画されたテープを再生したときは…

・自動的に**ステレオモード**に切換わります。
・**音声切換ボタン**を押すことにより音声と音声表示が、**ステレオ→左音声→右音声→モノラル**に切換わります。

音声モード	ステレオ放送受信時 Hi-Fiテープ再生時	画面表示
ステレオ	ステレオで聞こえる	ステレオ
左（主）	両方のスピーカーから 左の音声が聞こえる	左音声
右（副）	両方のスピーカーから 右の音声が聞こえる	右音声
ノーマル	モノラルで聞こえる	モノラル

● 二重音声放送(2カ国語放送)を受信したときは…

・音声は自動的に**二重音声モード**に切換わります。
・**音声切換ボタン**を押すことにより音声と音声表示が、**主音声→副音声→主：副**に切換わります。
　このとき音声モードが記憶され、次に二重音声放送を受信すると前に記憶した音声モードに自動的に切換わります。

音声モード	二重音声放送受信時	画面表示
ステレオ	左から主音声（日本語） 右から副音声（外国語）が聞こえる	主：副
左（主）	両方のスピーカーから 主音声（日本語）が聞こえる	主音声
右（副）	両方のスピーカーから 副音声（外国語）が聞こえる	副音声

（2ヵ国語放送が録画されたテープを再生するときも、同様です。）

● 本機は常に次の2つの方法で録音します。

Hi-Fi録音

・音声専用回転ヘッドによる**FM録音方式**を使い、すぐれたHi-Fi音声で録音や再生をします。
　Hi-Fi録音では、ステレオ放送はステレオで二重音声(2カ国語)放送は**左に主音声**、**右に副音声**が記録されます。
　モノラル放送は、**左右に同じ音声**が録音されます。

ノーマル録音

・従来のビデオと同じ録音方式で**モノラル**で録音します。
　ノーマル録音では、ステレオ放送はモノラルで録音され、**二重音声(2カ国語)放送は主音声(日本語)**だけが録音されます。録音レベルは、自動的に適切なレベルに設定されます。

あどばいす

• Hi-Fi録音以外のテープを再生すると、自動的にノーマル音声になります。
• Hi-Fi録音されたテープを、Hi-Fi方式でないビデオデッキで再生した場合はノーマル音声になります。

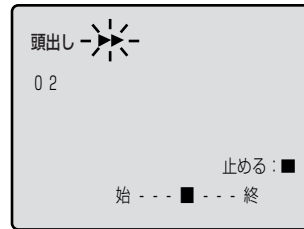
■ テープの頭出し

インデックス信号が記録された番組の頭出しをします。
インデックス信号は録画開始と同時に自動的にテープに記録されます。（録画中の一時停止から録画を再開したときは記録されません。）

● 2つ先の番組を頭出しする場合…

1 頭出し ▶▶| 次 を押すと頭出し検索が始まります。

2

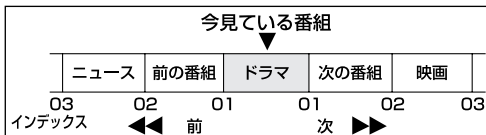
で02を選びます。

- 頭出し(次)ボタンを押しすぎて、02を越えてしまった場合は、**頭出し(前)ボタン**で数字を減らすことができます。
- 頭出し検索中にインデックス信号を検知すると、自動的に数字が減ります。
- **頭出しは、最大20まで設定できます。**

3

- 設定した位置にくると、自動的に**再生**が始まります。

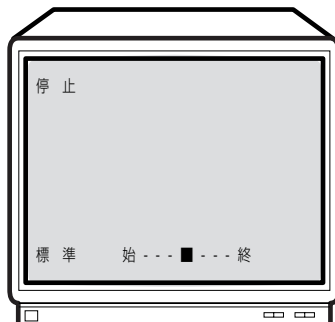
さらに

あどばいす

頭出しについて

- インデックス信号は録画開始と同時に自動的にテープに記録されます。ただし、録画中の一時停止から録画を再開した場合は記録されません。
- テープの巻き始めに記録されているインデックスや、録画時間が1〜2分の短い番組の場合は、検知されないことがあります。
- 手順1で頭出し(前)ボタンを押すと、前の番組方向に頭出し検索をすることができます。頭出し(前)ボタンまたは頭出し(次)ボタンを押すごとにお好みのインデックス番号を選ぶことができます。
- 再生開始位置は若干前後する場合があります。

■ テープポジション（現在のテープの位置を知りたいとき）

現在のテープ位置を画面に表示します。録画前にテープ残量を調べるのに便利です。

1 表示 を押します。

- 現在のテープの位置が「■」で表示されます。
- 早送り/巻戻しを行うと自動的にテープポジション表示になります。（但し、カウンター/時計表示の場合は、テープポジション表示にはなりません。）
- テープポジション表示中に再生を行うと、テープポジション表示は消えます。

あどばいす

- 表示ボタンを繰り返し押すと、テレビ画面の表示がテープポジション→カウンター→時計表示→表示なしの順に切換わります。詳しくは、44ページをご覧ください。
- 録画や再生中にテープポジション表示に切換えた際、テープ位置を示す「■」が表示されるまで約 2 分ほどかかる場合があります。
- T-30/60/90/120/140/160/180/210以外のテープでは、位置が正しく表示されない場合があります。

■ カウンターメモリー（指定した場面で止めるとき）

指定した箇所でテープを止めることができます。録画中や再生中にもう一度見たい場面がきたら、その場面をワンタッチで見つけることができます。

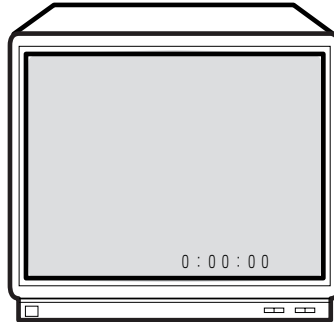
1 録画中または再生中に

表示

を2回押してテレビ画面に**カウンター**を表示させます。

を押します。

リセット

• カウンターが**0:00:00**になります。

2 を押します。

メモリー

• **メモリー**が表示されます。

3

録画または再生が終わったら、**停止ボタン**を押し、**巻戻しボタン**を押すと自動的に指定した箇所(カウンターの**0:00:00**付近)まで巻戻して止まります。

あどばいす

- 本機はテープの走行を、時／分／秒で表わすリニアタイムカウンターを採用しているため、録画されていないテープや録画されていない部分ではカウンターは働きません。
- メモリー機能を使わないときはカウンターメモリーボタンを押し、メモリー表示を消してください。
- 本機の本体表示部はカウンター表示しません。

■ CMスキップ（コマーシャルを早送りさせたいとき）

コマーシャルを早送りさせたい時などに、テープを30秒単位で早送り再生します。（音声はでません。）

1 CMスキップ を**再生中**に押します。

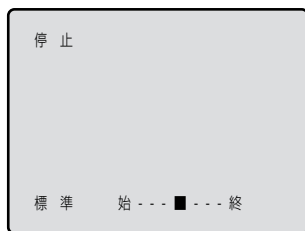
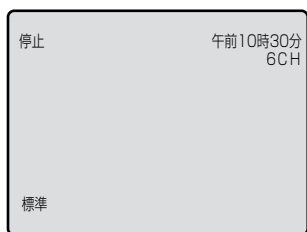
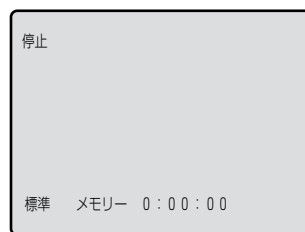
- 押す毎に**約30秒**ずつ加算されます。
  （最大**180秒**の早送り再生ができます。）
- **1回**押すと：**約30秒**早送り再生します。
- **2回**押すと：**約60秒**早送り再生します。
- **3回**押すと：**約90秒**早送り再生します。

2
- 指定した秒だけ早送り再生すると通常の再生に戻ります。

あどばいす

- CMスキップは再生時以外は操作できません。

■ 画面表示の切換えかた

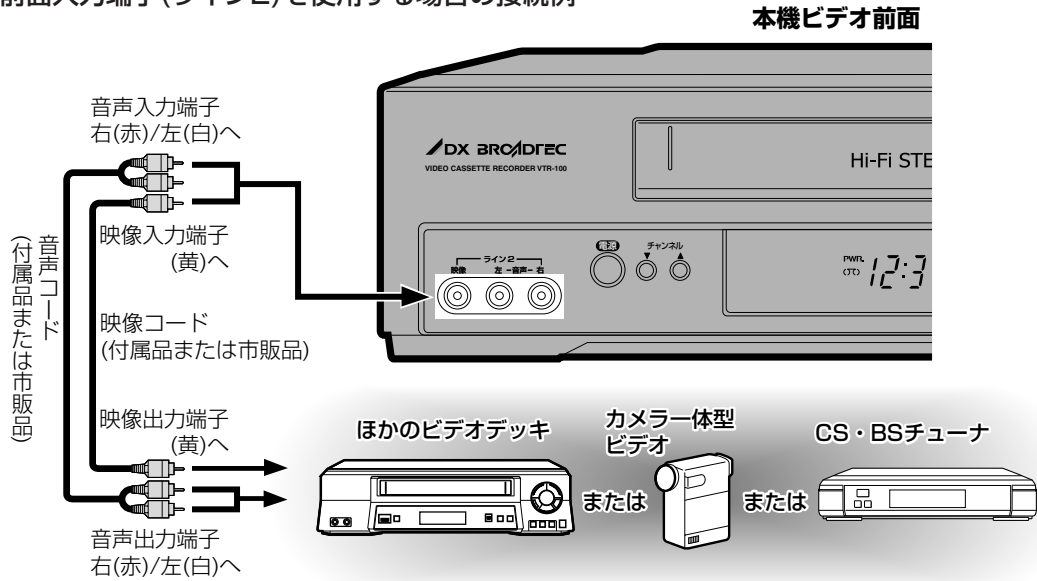
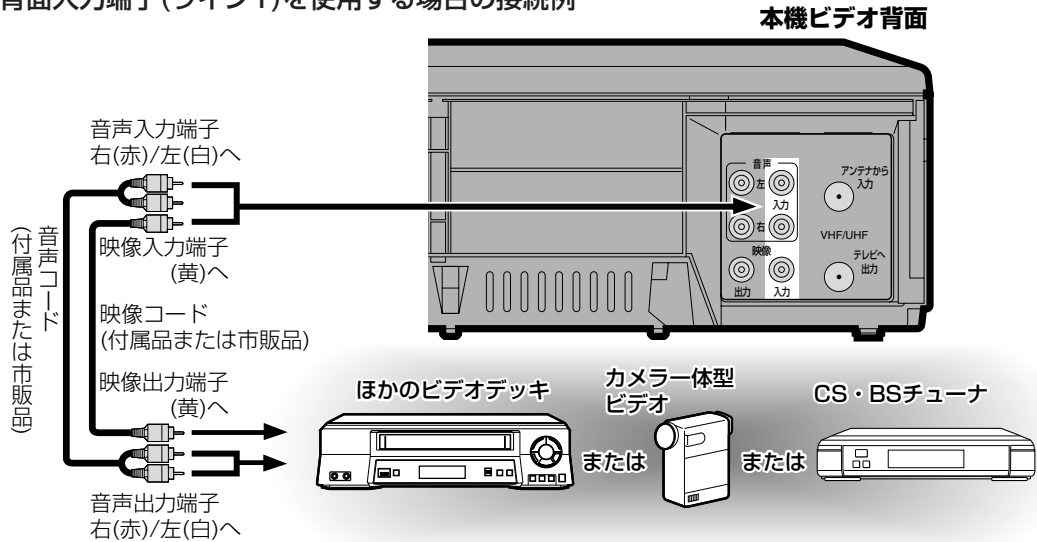
表示ボタンを繰り返し押すと、下図のようにテレビ画面が変わります。

あどばいす

- テープポジションについては、42ページをご覧ください。
- ワンタッチタイマ録画中は、表示ボタンを押すと残りの時間が表示されます。

ほかの機器と接続するには

■ ほかの機器との接続について

ほかのビデオデッキまたはカメラ一体型ビデオやCS・BSチューナと接続するには…

前面入力端子(ライン2)を使用する場合の接続例

背面入力端子(ライン1)を使用する場合の接続例

詳しくはほかのビデオデッキまたはカメラ一体型ビデオ、CS・BSチューナの取扱説明書もお読みください。

● 接続したほかの機器へ切換えるには46ページもご覧ください。

外部接続

ほかの機器と接続するには

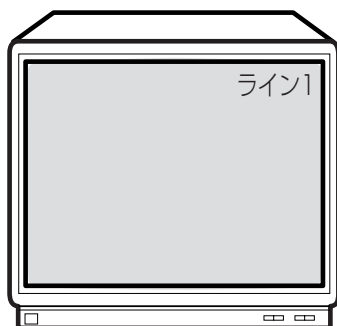
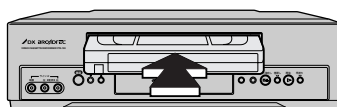
■ ほかの機器に切換えるには・テープのダビングをするには（本機を録画用としたとき）

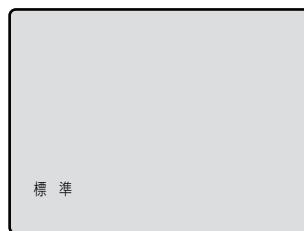
1 テレビ側をビデオ映像画面に切換えてから、

チャンネル

を押していき、**ライン1、またはライン2を**選びます。

ライン1

- **本機の背面入力端子に接続しているときは、ライン1**を選びます。
- **本機の前面入力端子に接続しているときは、ライン2**を選びます。

2
- 本機にツメの折れていない録画用テープを入れる。

3 標準/3倍 を押して**録画モード**を選びます。

- **標準モード**
  画質を優先したいとき
- **3倍モード**
  録画時間を長くしたいとき

4 ● 録画 を押すと**録画**を開始します。

5
- ほかのビデオデッキ（またはカメラ一体型ビデオ）の**再生ボタン**を押す。
- **誤って元テープの映像を消去しないために、ダビングの際には、元のテープの誤消去防止のツメを折ることをおすすめします。**

あどばいす

- ダビングを止めるときは、録画する機器（本機）を止めてから再生する機器を止めてください。
- 誤動作を防ぐために、録画する機器の操作は本体ボタンを使用することをおすすめします。
- 接続する機器の取扱説明書もよくご覧ください。

ご注意

市販テープ・レンタルテープのダビングについて
- 市販のテープやレンタルテープをダビングされた場合、正常に録画できなかったり（画像が乱れる、定期的に暗くなったり明るくなったりする）、テレビの映像が正常に映らないときがあります。これは著作権者保護の目的で、コピーガード機能が働いているために起こる現象です。本機の故障ではありません。
- あなたがテレビ放送や音楽用CD、録画物などから録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

テープ内容補償・ご注意について
- 万一本機およびビデオカセットなどの不具合により正常に録画されなかったり、再生できなくなった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。

点検してください

■ 故障かな？と思ったら

この取扱説明書に添って操作しても正常に働かないときは、下記を参照しながら点検してください。
点検されても直らないときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

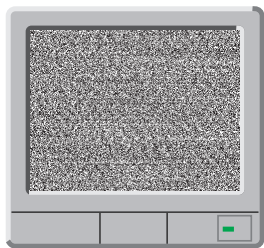
症　状	原　因	処　置	ページ
電源が入らない。	※ 電源プラグがはずれている。	● 電源プラグを**コンセント**に差し込む。	8
	※ 電源が「切」になっている。	● 電源を「**入**」にする。	8
時計表示が出ない。(表示例)　ー：ーー	※ 停電があった。	● 電源を入れ、**時計を合わせ直す**。	14
	※ 電源プラグがはずれている。	● 電源プラグを**コンセント**に差し込み、時計合わせをやり直す。	8、14
テレビの番組が映らない。	※ ビデオに接続されていたアンテナ線がはずれている。	● **アンテナ線**を正しくつなぐ。	10～11
	※ アンテナ線が断線、ショートしている。	● **アンテナ線**を点検する。	ーー
	※ ビデオの受信チャンネルが設定されていない。	● **「自動チャンネルの設定」を行う。**	16～21
	※ テレビのチャンネルがビデオ（外部/AUXなど）になっていない。	● テレビのチャンネルを**「ビデオ（外部/AUXなど）」**に設定する。	22
	※ テレビ放送の電波が弱い。	● 電波が弱い地域では、ビデオを接続すると映りが悪くなることがあります。このようなときは販売店にご相談ください。	10～12
録画ができない。	※ ビデオテープのツメが折れている。	● ツメの場所に**セロハンテープ**を貼る。	6
録画予約ができない。	※ 時計合わせが正確に行われていない。	● **日付、時計合わせ**を正確に行う。	14
	※ 録画予約が正しくセットされていない。	● **録画予約**を正しくセットする。	30
	※ ビデオテープが入っていない。	● **ビデオテープ**を入れる。	27
	※ ビデオテープのツメが折れている。	● ツメの場所に**セロハンテープ**を貼る。	6
	※ 停電があった。	● 電源を入れ、**時計合わせを正確に**行い、録画予約をやり直す。	14、30
再生の画面がきれいに映らない。	※ テレビの画面調整が正しくない。	● テレビの**画面調整**をする。	ーー
音声は出るが、再生画が出ない、またはブルー一色になる。	※ ビデオヘッドが汚れている。	● ヘッドクリーニングが必要です。**クリーニングテープ（市販品）でヘッドクリーニングを行なってください。**	49
再生画像、音声共に出ない。	※ テレビのチャンネルなどがテレビになっている。	● テレビのチャンネルなどを**ビデオ（外部/AUXなど）**にする。	ーー
	※ 映像・音声コードがはずれている。	● 映像・音声コードを端子の根元まで**キッチリと差し込む。**	12
ビデオに切換えても画像が出ない。「ブー」音のみが出る。	※ 映像・音声コードの映像/音声が逆に接続されている。	● 映像・音声コードの映像/音声を**正しく接続**してください。	12
再生画像の一部にノイズが出る。	※ トラッキングの調整が合っていない。 ※ 別のビデオで録画したビデオテープを再生している。	● 見やすい画像になるように、**トラッキングを**調整する。	22
	※ 傷んだテープを使用している。	● 傷んだテープのご使用は**おひかえください。**	ーー
市販ビデオソフトをダビングしたら、画像が乱れる。	※ ビデオソフトはコピーガードの機能でガードされており、したがって規格上ダビングはできなくなっています。	● 故障ではありません。	ーー

（48ページもご覧ください。）

点検してください

症　　状	原　　因	処　　置	ページ
ビデオテープを入れた直後、ビデオテープが出てきた。	※ ビデオ本体を保護するための安全機構が働いた。	● 1度ビデオテープを取出してから、再度ビデオテープをまっすぐに**入れ直してください。**	22
	※ ビデオ本体内部に異物が入った。	● 異物の取出しが必要です。**お買い求めの販売店、船井サービスセンター、DXアンテナ営業所にご相談ください。**	**裏表紙**
予約録画終了後、タイマランプが点滅し、操作を受け付けない。	※ すべての予約録画が完了し、次に予約が入っていない状態です。	● **電源ボタンを押して電源を入れてください。** ● **故障ではありません。**	32
リモコンで操作できない。	※ リモコンと本体が離れすぎている。	● **7m以内**の所で操作してください。	9
	※ リモコンと本体の間に障害物がある。	● **障害物**を取り除いてください。	9
	※ リモコンの電池が消耗している。	● 電池を**交換して**ください。	9
	※ リモコンに水など水分を含む物をこぼした。	● リモコンの交換が必要です。**お買い求めの販売店、船井サービスセンター、DXアンテナ営業所にご相談ください。**	**裏表紙**
	※ 製品本体のリモコン受光部不良の可能性がある。	● ラジオを利用し、次のようなチェックを行なってみてください。AM放送で放送局のない周波数（雑音の出る状態）に合わせ（音量は大きめ）、ラジオのそばで任意のボタンを押します。雑音の中にブ、ブ、ブのような音が聞こえてきたらリモコンは正常です。**お買い求めの販売店、船井サービスセンター、DXアンテナ営業所にご相談ください。**	**裏表紙**
録画スタート時やつなぎ録画をした部分を再生したとき、虹色のシマが画面に出る。	※ 本機の機構的な現象です。	● **故障ではありません。**	――
テープが巻きついた。	※ 結露によりテープがビデオヘッドに貼りつきからまっている。	● **お買い求めの販売店、船井サービスセンター、DXアンテナ営業所にご相談ください。**	**裏表紙**
テープが完全に巻き戻されない。	※ 巻き戻しは2段階で行います。高速巻き戻しから低速巻き戻しにかわる際、一度停止しますので、その時点で取出されますと完全に巻き取られていない場合があります。	● **故障ではありません。**	――
ステレオ音声にならない。	※ 音声モードが左、右、モノラルのいずれかになっている。	● **音声モードをステレオに切換える。**	40
	※ モノラル放送を録画したテープ、またはモノラル機で録画したテープを再生している。	● **故障ではありません。**	――
電源プラグを壁コンセントにさした時、火花が一瞬発生する。	※ 電源プラグをコンセントに差し込んだ際、電源プラグの刃先に電流が流れることにより発生する現象です。電源投入時、電源回路の電解コンデンサーに電荷がたまるまでの間、インラッシュ電流が流れることにより発生します。	● **製品の安全上は全く問題ありませんが、火花が気になる場合は、市販の「電源スイッチ付きコンセント」をお買い求めになり、その電源スイッチで製品の「入り・切り」を行えば火花は発生しません。**	――

■ 映像が映らないとき・・・

● 突然、画像が下記のようになった場合は、ビデオヘッドが汚れていることが考えられますので市販または船井サービス(株)で販売している「クリーニングテープ」で、ヘッドクリーニングを定期的に行なってください。

“ノイズ”だけの映像

“ブルー”一色の映像

“ノイズ”が入った映像

● ヘッドクリーニングしても効果がない場合は、**お買い求めの販売店にご相談ください。**

オートヘッドクリーニングおよびビデオヘッドの寿命について

● **オートヘッドクリーニング機能について**
カセットテープを入れたときや、出したときに自動的にビデオヘッドの汚れを取り除きます。上記画像になったときには、ビデオヘッドのクリーニングが必要です。市販のクリーニングテープでヘッドクリーニングを行なってください。(ただし、取りきれない汚れもあります。)

● **ビデオヘッドの点検について**
美しい画面をご覧いただくためには、使用環境(温度/湿度/ほこり)などによって異なりますが、ビデオヘッドはおよそ**1000時間**を目安に点検・清掃されることをおすすめします。詳しくは、**お買い求めの販売店にご相談ください。**

● **ビデオヘッドの交換について**
ビデオヘッドは消耗部品です。ビデオヘッドは高速で回転しながらテープと接触し画像を録画・再生します。そのために長期にわたるテープとの摩擦によりビデオヘッドは磨耗してきます。再生画像が乱れたりクリーニングテープでヘッドクリーニングしても改善しない場合は、ビデオヘッドの磨耗が考えられ交換が必要になります。**お買い求めの販売店にご相談ください。**

■ お手入れについて

キャビネットは…

中性洗剤

● キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってからふき取り、最後にかわいた布でからぶきしてください。中性洗剤をご使用の際は、その注意書をよくお読みください。
● シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。
● 殺虫剤などの揮発性のものをかけないでください。

取り扱いは…

● 国外では使えません。
本機は日本国内用に設計されています。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
(This video cassette recorder is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)
● ご使用にならないときは、必ず停止ボタンを押してからビデオカセットテープを取出し、電源を切ってください。

● 本機を移動するときは、ビデオカセットテープを取出し電源を切ってください。

仕様

都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

一般仕様	テレビシステム		NTSC方式
	ビデオヘッド		回転式4ヘッド
	録画システム		回転2ヘッドヘリカルスキャン輝度信号FM方式、 色信号低域変換直接記録方式VHS規格
	音声トラック		ハイファイ音声トラック:　2チャンネル
			ノーマル音声トラック:　　1チャンネル
	使用テープ		1/2インチ(VHS)
	テープ速度		「標準」：33.4mm/秒、「3倍」：11.1mm/秒
	最大録画再生時間		「標準」：2時間40分(T-160使用時)
			「3倍」：8時間(T-160使用時)
	受信チャンネル		VHF：1～12チャンネル、UHF：13～62チャンネル、CATV：C13～C63チャンネル
	受信方式		インターキャリア方式
	タイマ表示		午前/午後12時間システム
	端　子	アンテナ入力	VHF/UHF：F形コネクタ（一軸）
		アンテナ出力	VHF/UHF：F形コネクタ（一軸）
		映像入力	ピンジャック×2（背面1、前面1）
		映像出力	ピンジャック×1（背面1）
		音声入力	ピンジャック×4（背面2、前面2）
		音声出力	ピンジャック×2（背面2）
電気的仕様	映像出力インピーダンス		75Ω
	映像出力レベル		1.0Vp-p
	音声出力レベル		−6dBv（1kΩ）
	映像入力レベル		0.5～2.0Vp-p
	音声入力レベル		−10dBv
	映像S/N比		45dB以上
	音声S/N比		40dB以上
	ハイファイ音声		周波数特性：20～20.000Hz、ワウフラッタ：0.05%WRMS以下 ダイナミックレンジ：80dB以上
その他	電源		AC100V，50/60Hz
	定格消費電力		**12W**
	待機時(時刻表示消灯)		**1.0W**
	(時刻表示点灯)		**1.2W**
	エネルギー消費効率		**1.2W**（省エネルギー法のビデオテープレコーダに定められた算定式に基づいています）
	停電保障		約30秒
	許容温度範囲		5℃～40℃
	許容湿度範囲		80%以下
	寸法		36.0（幅）× 9.2（高さ）× 21.6（奥行）cm
	質量		約2.1kg

アフターサービスについて

1）**保証書（梱包箱に貼付けしてあります。）**
保証書に販売店名と購入日（購入日を証明する納品書や領収書）がありませんと保証期間内でも万一故障がある場合に有償修理になることがあります。内容をご確認の上、本取扱説明書と共に大切に保管してください。

2）**保証期間はお買い求めの日から1年間です。**
本機は一般家庭用として作られています。ビデオヘッド・各種ベルトなどの消耗部品については、業務用や特殊使用の場合、保証期間内でも「**有償修理**」となります。

3）**アフターサービスのご依頼について**

◆保証期間中、万一製品が故障してしまった場合
この取扱説明書の「**故障かな?と思ったら**」をよくお読みになり、点検を繰り返しても正常に作動しないときは、製品に保証書を添えて、販売店にご持参いただくか、または最寄りのサービスセンターまで梱包の上、ご送付ください。（製品が破損しないようにご注意ください。）保証書の記載内容にしたがって修理させていただきます。

◆保証期間を過ぎて製品が故障してしまった場合
販売店にご持参いただくか、または最寄りのサービスセンターまで運賃元払い（お客様ご負担）にて、下記枠内の内容を記載した用紙を添付し、ご送付ください。修理によって製品の機能を維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理をご依頼される際にご連絡いただきたい内容：
- **ご住所・ご氏名・電話番号**
- **故障または異常の内容**
- **製品型番・製造番号・ご購入日**

4）**アフターサービスについてご不明な点は…**
販売店、または最寄りの**船井サービスセンター**、**DXアンテナ営業所**までお問い合わせください。

5）**補修用性能部品の最低保有期間**
このビデオの補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、製造打切後最低8年間保有してあります。

ご購入メモ

■ご購入記録として下記内容をご記入ください。
（このビデオの製造番号は背面および保証書に記載してあります。）

お買い上げ年/月/日	年　　　月　　　日
お買い上げ店名/住所/電話番号	☎
お買い上げ製品の型番	**VTR-100**
お買い上げ製品の製造番号	

愛情点検　●長年ご使用のビデオデッキの点検を！（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか
- ●再生しても映像や音が出ない。
- ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ●内部に水や異物が入った。
- ●時計表示などに異常がある。
- ●テープを傷めた。
- ●その他の異常や故障がある。

ご使用中止
このような時は、故障や事故防止のためスイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ずお買い求めの販売店にご連絡ください。

■本製品についてのご質問やその他ご不明な点は、下記**お客様ご相談室**までお問い合わせください。

【船井電機株式会社　お客様ご相談室】
☎(072) 871－1110　FAX(072) 871－1199

■インターネットからもお問い合わせを受け付けております。
くわしくは、船井電機株式会社ホームページ（ **http://www.funai.jp**）の「**お客様ご相談室**」をご覧ください。

■お問い合わせをいただく場合、下記内容をお知らせください。
● **お名前・ご住所・電話番号**　● **製品型番・製造番号・ご購入日・ご購入店名**

■本製品についての取り扱い方法に関するご質問や、故障の場合は、お買い求めの**販売店**または**船井サービスセンター**、**DXアンテナ営業所**までお問い合わせください。

【船井サービス株式会社】

北海道サービスセンター	〒060-0061　北海道札幌市中央区南一条西10-4　南大通ビルアネックス1Ｆ ☎(011) 281－0130　FAX（011）281－0137
東北サービスセンター	〒984-0046　宮城県仙台市若林区二軒茶屋3-5　鴫原ビル1Ｆ ☎(022) 299－1658　FAX（022）299－1662
関東サービスセンター	〒192-0363　東京都八王子市別所1-18-10 ☎(0426) 79－5402　FAX（0426）79－5406
中部サービスセンター	〒466-0064　愛知県名古屋市昭和区鶴舞3-4-3　富田ビル2Ｆ ☎(052) 735－0440　FAX（052）735－0441
近畿サービスセンター	〒577-0012　大阪府東大阪市長田東3-2-43　長田SKパークビル1Ｆ ☎(06) 6746－3373　FAX（06）6746－3374
中国/四国サービスセンター	〒720-2411　広島県福山市加茂町字芦原387-2　中国船井電機(株)内 ☎(084) 972－8387　FAX（084）972－8114
九州サービスセンター	〒812-0014　福岡県福岡市博多区比恵町17-7　サンシティパーキングビル1Ｆ ☎(092) 475－1252　FAX（092）475－3227

■付属品、部品については、サービスセンターでお求めいただけます。
■本製品についてのインターネットによる修理のご依頼や、付属品のオンラインショッピングは
http://www.funai.info をご覧ください。

【DXアンテナ株式会社】

家電営業部（東日本）	〒130-0026　東京都墨田区両国4丁目21番4号両国三和ビル2F ☎(03) 3846－3950　FAX（03）3846－3990
家電営業部（西日本）	〒532-0011　大阪市淀川区西中島7丁目4番17号 新大阪上野東洋ビル8F ☎(06) 6889－1530　FAX（06）6889－1540

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

- 札幌支店 TEL.(011)822-1251(代)
- 東北支店 TEL.(022)243-2141(代)
- 盛岡出張所 TEL.(019)636-1581(代)
- 郡山出張所 TEL.(024)921-7131(代)
- 東京西営業所 TEL.(03)3354-8451(代)
- 東京東営業所 TEL.(03)3633-1411(代)
- 東京システム事業部 TEL.(03)3341-5282(代)
- 多摩営業所 TEL.(042)572-4911(代)
- 横浜支店 TEL.(045)651-2557(代)
- 埼玉支店 TEL.(048)652-3311(代)
- 宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代)
- 新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代)
- 茨城営業所 TEL.(029)826-5341(代)
- 千葉支店 TEL.(043)253-1121(代)
- 静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代)
- 浜松営業所 TEL.(053)461-6885(代)
- 中部支店 TEL.(052)771-5106(代)
- 松本出張所 TEL.(0263)27-7801(代)
- 豊橋出張所 TEL.(0532)69-2370(代)
- 三重営業所 TEL.(059)226-1643(代)
- 金沢支店 TEL.(076)261-9988(代)
- 富山営業所 TEL.(076)422-7878(代)
- 大阪支店 TEL.(06)6304-5651(代)
- 堺営業所 TEL.(072)278-5311(代)
- 京都営業所 TEL.(075)382-6141(代)
- 神戸支店 TEL.(078)974-7100(代)
- 広島支店 TEL.(082)237-5331(代)
- 岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代)
- 高松営業所 TEL.(087)868-1222(代)
- 松山営業所 TEL.(089)925-3826(代)
- 福岡支店 TEL.(092)541-0168(代)
- 北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代)
- 大分営業所 TEL.(097)504-7799(代)
- 熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代)
- 南九州営業所 TEL.(099)267-8211(代)
- 沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代)

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代)　東京支社/〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎第1ビル3F TEL.(03)3341-4569(代)
カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30～12:00/13:00～17:00(土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く)　ホームページアドレス http://www.dxantenna.co.jp/

※ 所在地、電話番号は都合により変更する場合がございますので、ご了承ください。(2005年 3月 現在)

販売元: **DXアンテナ株式会社**　〒652-0807 兵庫県神戸市兵庫区浜崎通2番15号
製造元: **船井電機株式会社**　〒574-0013 大阪府大東市中垣内7丁目7番1号

HJ460JD
1VMN20434 ★★★★★